

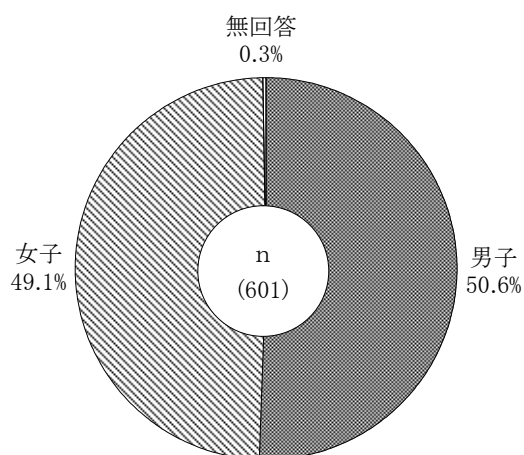
I I I 幼児・小学生調査結果

1. 基本属性

(1) 子どもの性別

F 1-1 お子さんの性別は。(○は1つだけ)

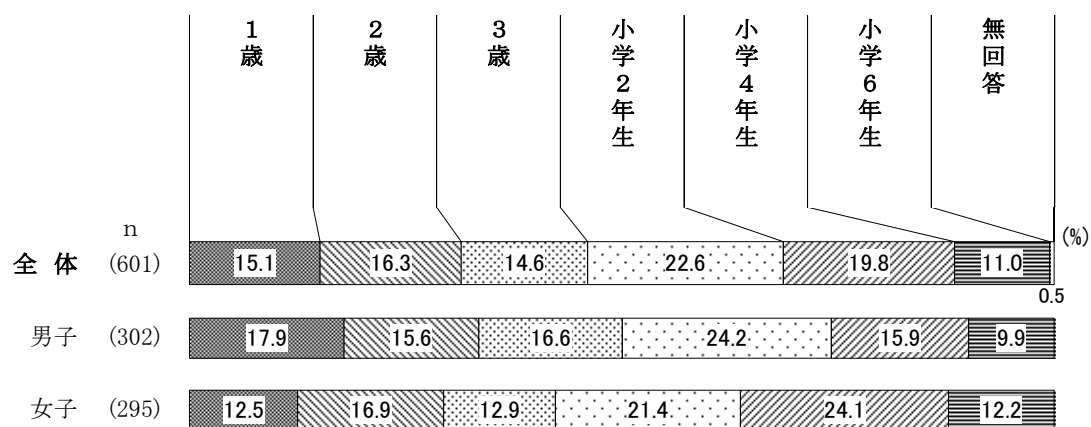
〈子どもの性別〉



(2) 子どもの年齢

F 1-2 お子さんの年齢は。(○は1つだけ)

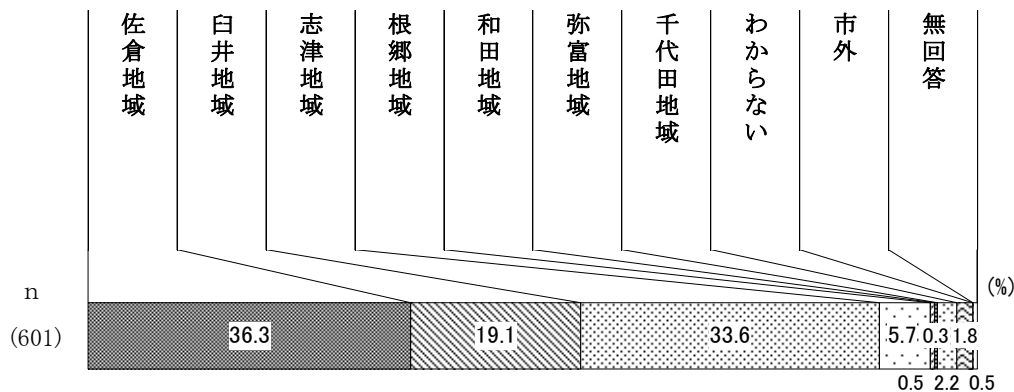
〈子どもの年齢〉



(3) 居住地

F 1－3 お住まいの居住地は。(○は1つだけ)

〈 居住地 〉

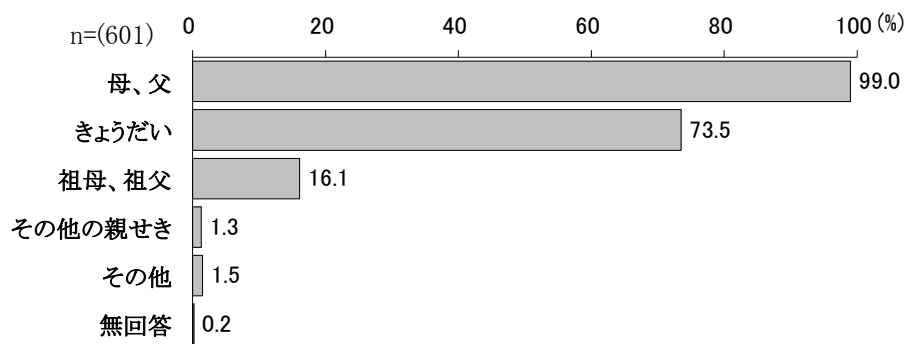


(4) 同居者

F 1－4 お子さんから見た続柄で、現在の同居者をすべて選んでください。

(○はいくつでも)

〈 同居者 〉

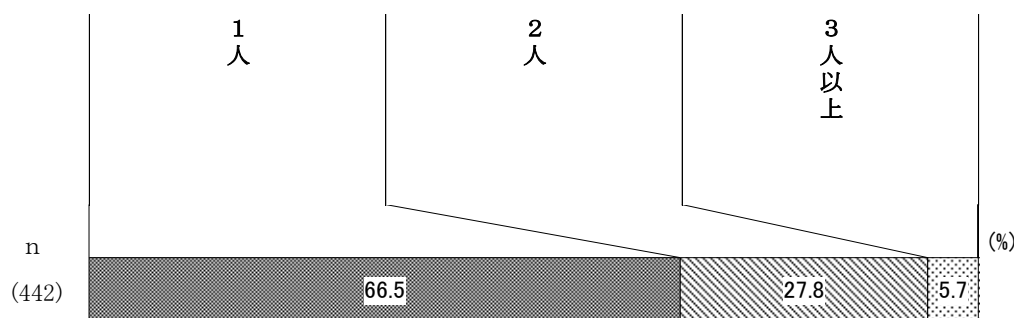


F 1－4で「きょうだい」に○をつけた人のみ

F 1－4－1 お子さんには、きょうだいが何人いますか。

(このアンケートの対象となったお子さん本人を除く。○はひとつだけ)

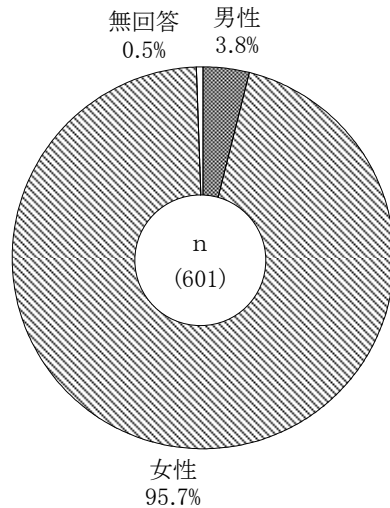
〈 きょうだいの人数 〉



(5) 記入者の性別

F 2-1 あなたの性別は。(○は1つだけ)

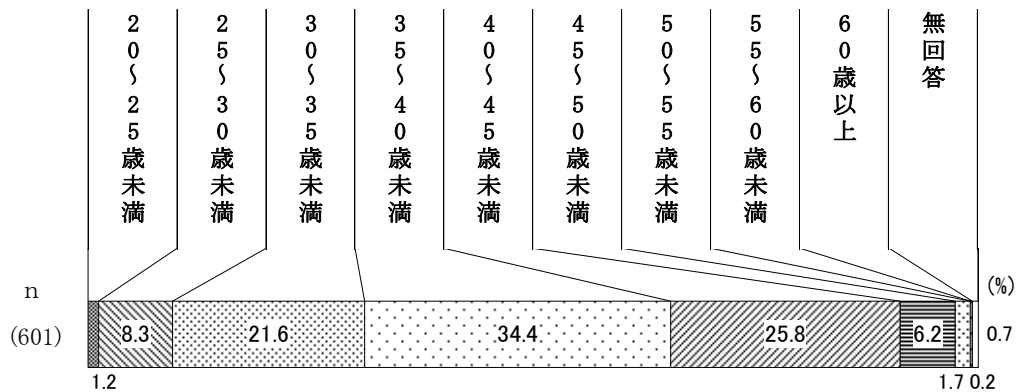
〈記入者の性別〉



(6) 記入者の年齢

F 2-2 あなたの年齢は。

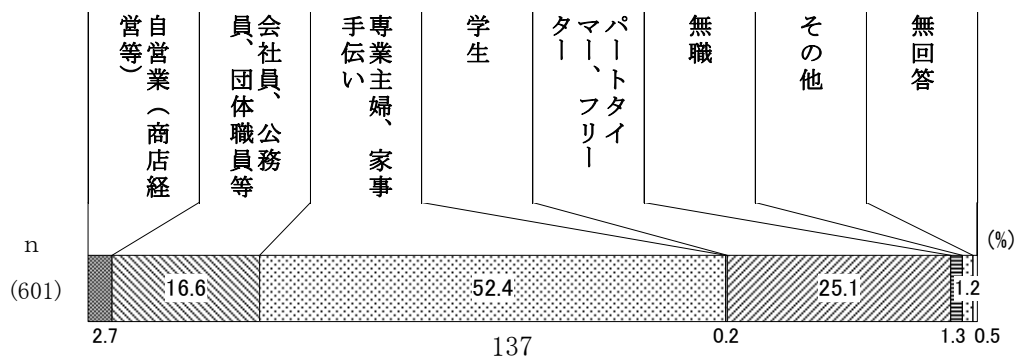
〈記入者の年齢〉



(7) 記入者の職業

F 2-3 あなたの職業は。(○は1つだけ)

〈記入者の職業〉



2. 健康についての考え方

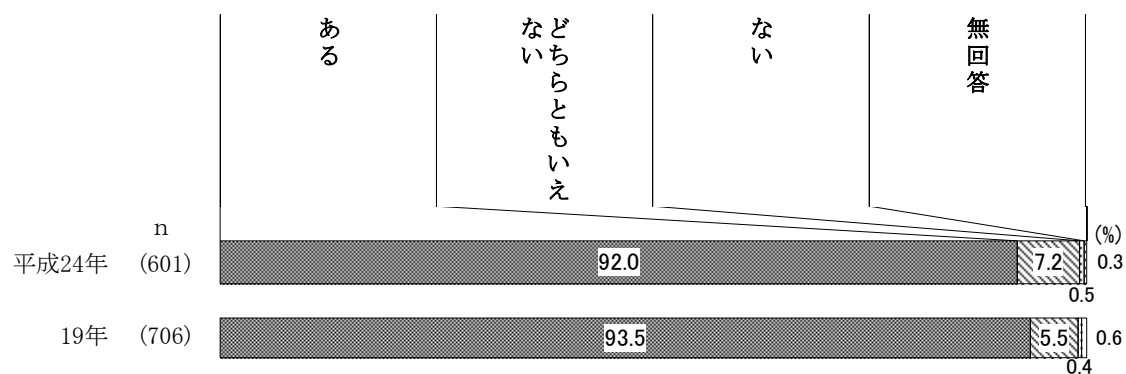
(1) 自分や家族の健康への関心

問1 あなたは、自分や家族の健康に関心がありますか。(○は1つだけ)

自分や家族の健康に対して、関心が「ある」は92.0%を占めている。

平成19年調査の結果と比較すると、ほぼ横ばいとなっている。

〈 前回／自分や家族の健康への関心 〉



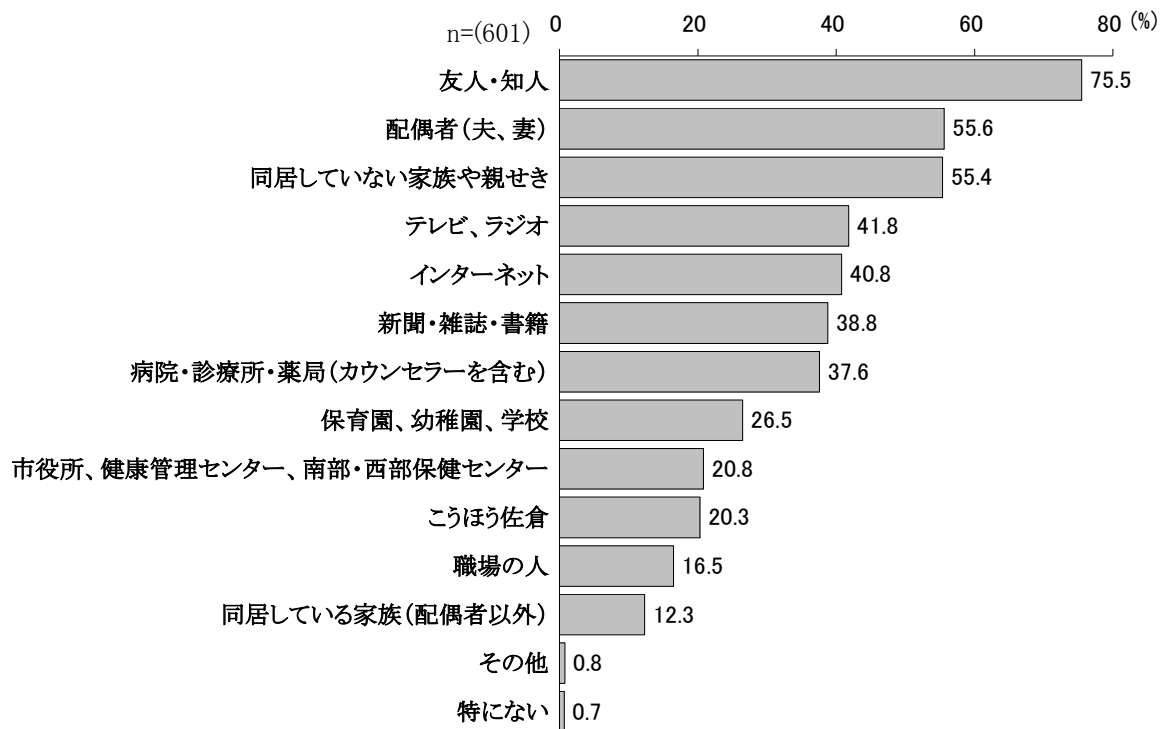
(2) 子育てや健康等の情報源

問2 ふだん、どこ（だれ）に、妊娠・出産・育児やお子さんの健康に関する情報を聞いていますか。（○はいくつでも）

子育てや子どもの健康についての情報源としては、「友人・知人」が75.5%で最も高く、以下「配偶者（夫、妻）」（55.6%）、「同居していない家族や親せき」（55.4%）、「テレビ、ラジオ」（41.8%）の順で続いている。

幼児・小学生別でみると、幼児では「配偶者（夫、妻）」や「同居していない家族や親せき」が小学生より高くなっている。

〈 幼児・小学生／妊娠・出産・育児や子どもの健康に関する情報源 〉



	配偶者(夫、妻)	同居している家族(配偶者以外)	同居していない家族や親せき	友人・知人	市役所、健康管理センター、南部・西部保健センター	病院・診療所・薬局(カウンセラーを含む)	保育園、幼稚園、学校	職場の人	テレビ、ラジオ	新聞・雑誌・書籍	こうほう佐倉	インターネット	その他	特になし
全 体 (n=601)	55.6	12.3	55.4	75.5	20.8	37.6	26.5	16.5	41.8	38.8	20.3	40.8	0.8	0.7
幼児 (n=277)	63.2	13.4	64.6	78.7	29.6	40.8	27.8	13.7	37.2	37.5	24.2	49.8	1.8	-
小学生 (n=321)	48.9	11.2	47.4	73.2	12.8	34.6	25.2	19.0	45.5	39.6	17.1	33.0	-	1.2

3. 栄養・食生活

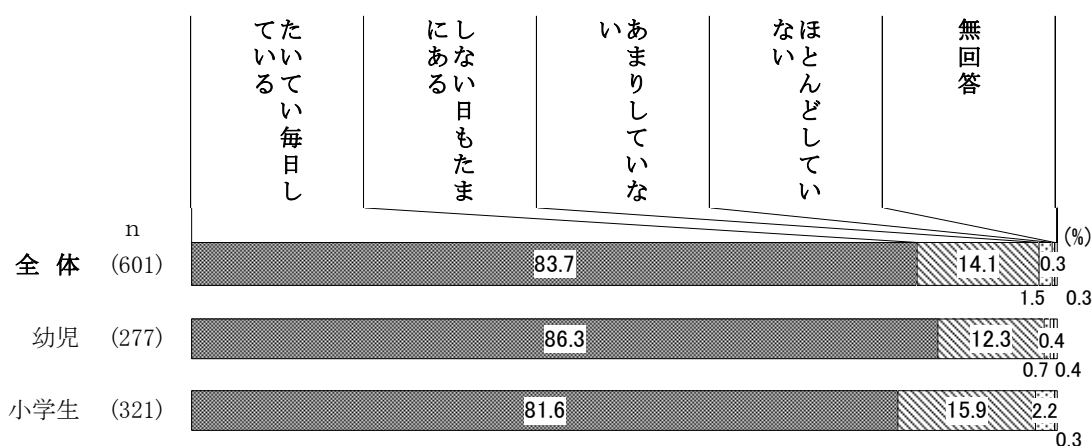
(1) 子どもの食生活

問3 あなたは、お子さんの食生活に関して、ふだん、次のそれぞれのことをどのくらいしていますか。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

お子さんに、一日3回規則正しい食事を心がけている

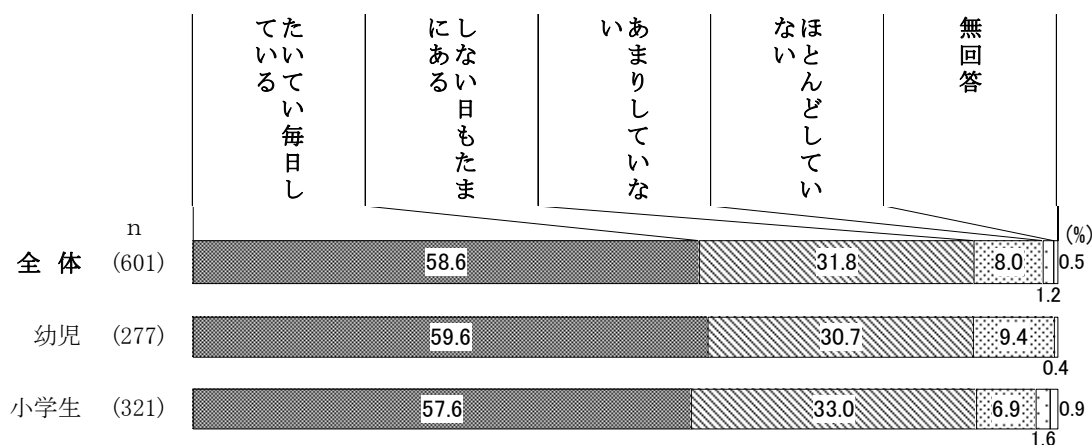
〈お子さんに、一日3回規則正しい食事を心がけている〉については、「たいてい毎日している」が83.7%を占めている。

〈 幼児・小学生／お子さんに、一日3回規則正しい食事を心がけている 〉

お子さんが家族と会話しながら、時間をかけて食事ができるようにする

〈お子さんが家族と会話しながら、時間をかけて食事ができるようにする〉については、「たいてい毎日している」が58.6%を占めて最も高く、次いで「しない日もたまにある」(31.8%)となっている。

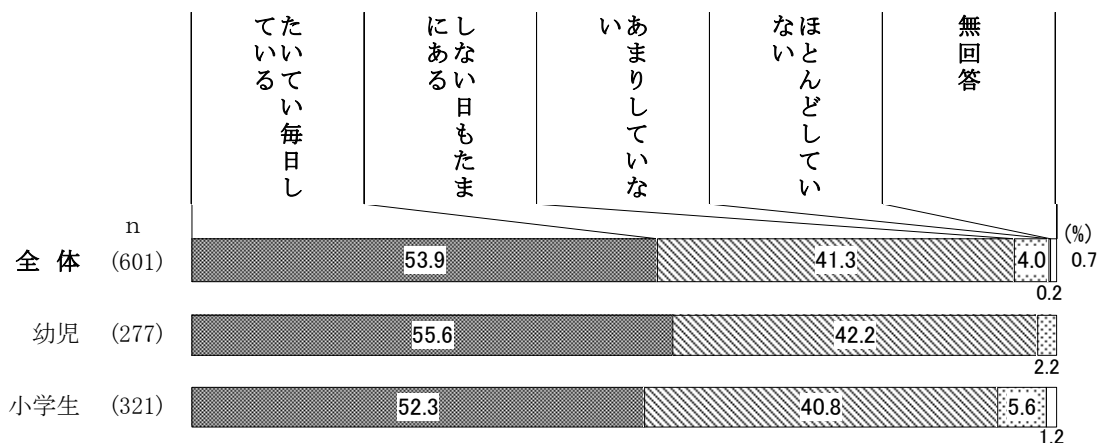
〈 幼児・小学生／お子さんが家族と会話しながら、時間をかけて食事ができるようにする 〉



お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考える

〈お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考える〉については、「たいてい毎日している」が53.9%を占めて最も高く、次いで「しない日もたまにある」(41.3%)となっている。

〈 幼児・小学生／お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考える 〉

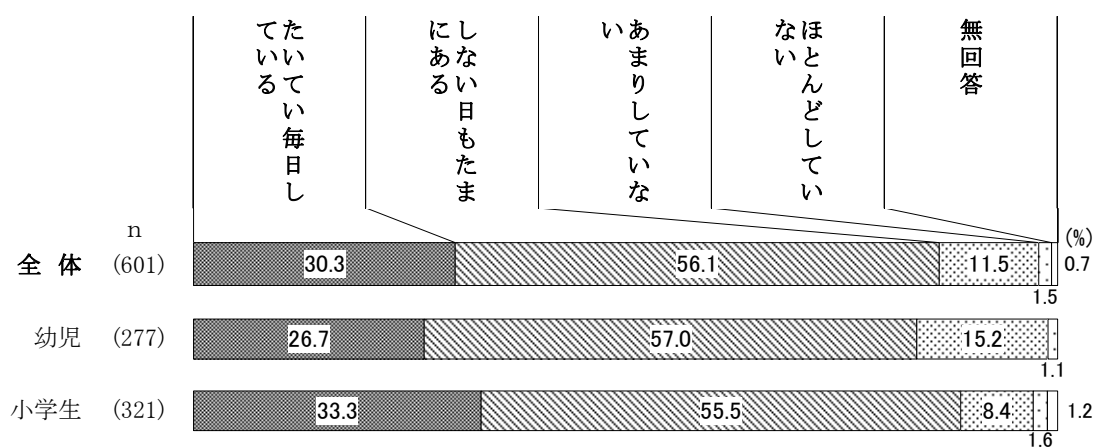


毎食（三食）、野菜料理を食べさせる

〈毎食（三食）、野菜料理を食べさせる〉については、「しない日もたまにある」が56.1%を占めて最も高く、次いで「たいてい毎日している」(30.3%)となっている。

幼児・小学生別でみると、小学生では「たいてい毎日している」が33.3%と幼児(26.7%)より高くなっている。

〈 幼児・小学生／毎食（三食）、野菜料理を食べさせる 〉

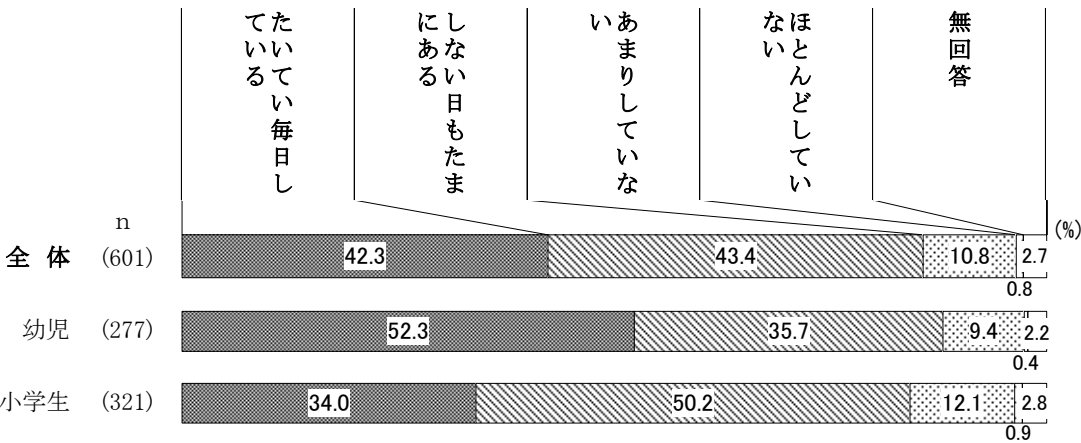


カルシウムが多い食品をとらせている

〈カルシウムが多い食品をとらせている〉については、「たいてい毎日している」(42.3%)と「しない日もたまにある」(43.4%)に分かれている。

幼児・小学生別でみると、幼児では「たいてい毎日している」が52.3%と小学生(34.0%)より高くなっている。

〈 幼児・小学生／カルシウムが多い食品をとらせている 〉

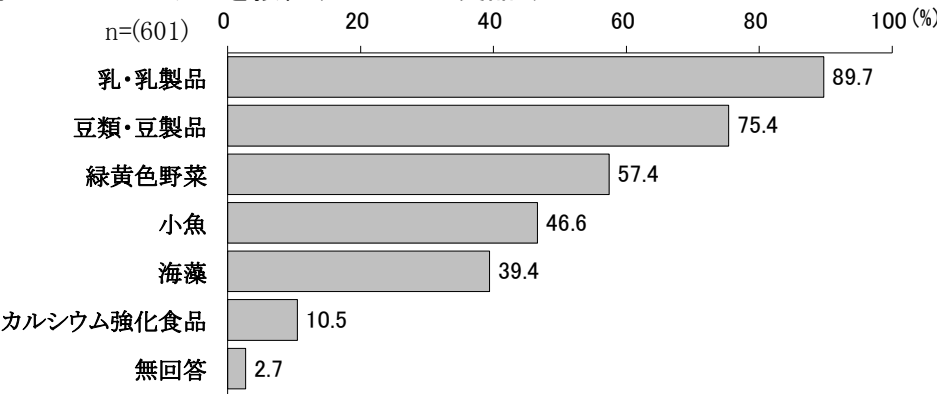


付問3-1 具体的には、どのような食品でカルシウムをとらせるようにしていますか。
(○はいくつでも)

カルシウムを摂取するための食品としては、「乳・乳製品」が89.7%で最も高く、以下「豆類・豆製品」(75.4%)、「緑黄色野菜」(57.4%)の順で続いている。

幼児・小学生別でみると、幼児では「緑黄色野菜」が62.8%と小学生(52.6%)より高くなっている。

〈 幼児・小学生／カルシウムを接種するための食品 〉



	乳・乳製品	豆類・豆製品	小魚	海藻	緑黄色野菜	カルシウム強化食品	無回答
全 体 (n=601)	89.7	75.4	46.6	39.4	57.4	10.5	2.7
幼児 (n=277)	91.0	78.3	49.5	33.6	62.8	13.7	1.4
小学生 (n=321)	88.8	73.2	43.9	43.9	52.6	7.5	3.7

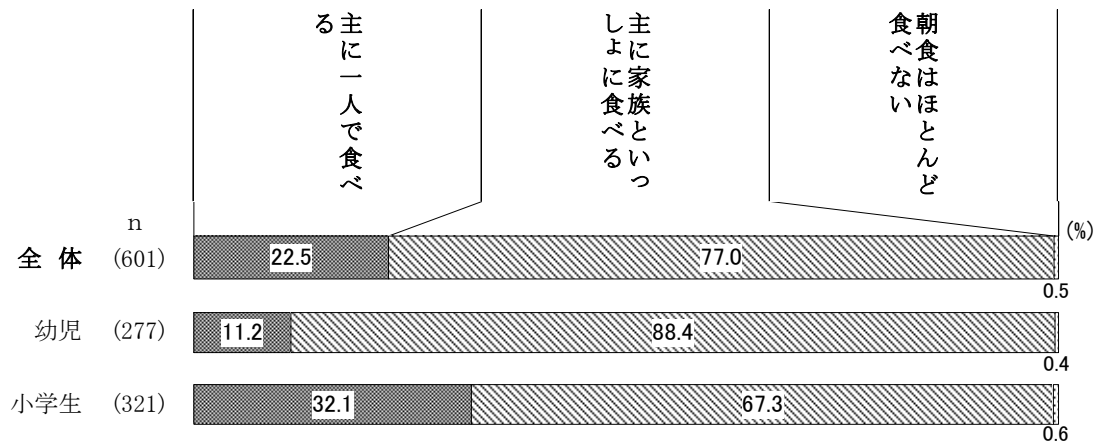
(2) 朝食

問4 お子さんは、朝食はどのように食べていますか。(○は1つだけ)

子どもの朝食のとり方としては、「主に家族といっしょに食べる」が77.0%で最も高く、次いで「主に1人で食べる」(22.5%)となっている。

幼児・小学生別でみると、幼児では「主に家族といっしょに食べる」が88.4%を占めているが、小学生では「主に1人で食べる」も32.1%となっている。

〈 幼児・小学生／子どもの朝食のとり方 〉



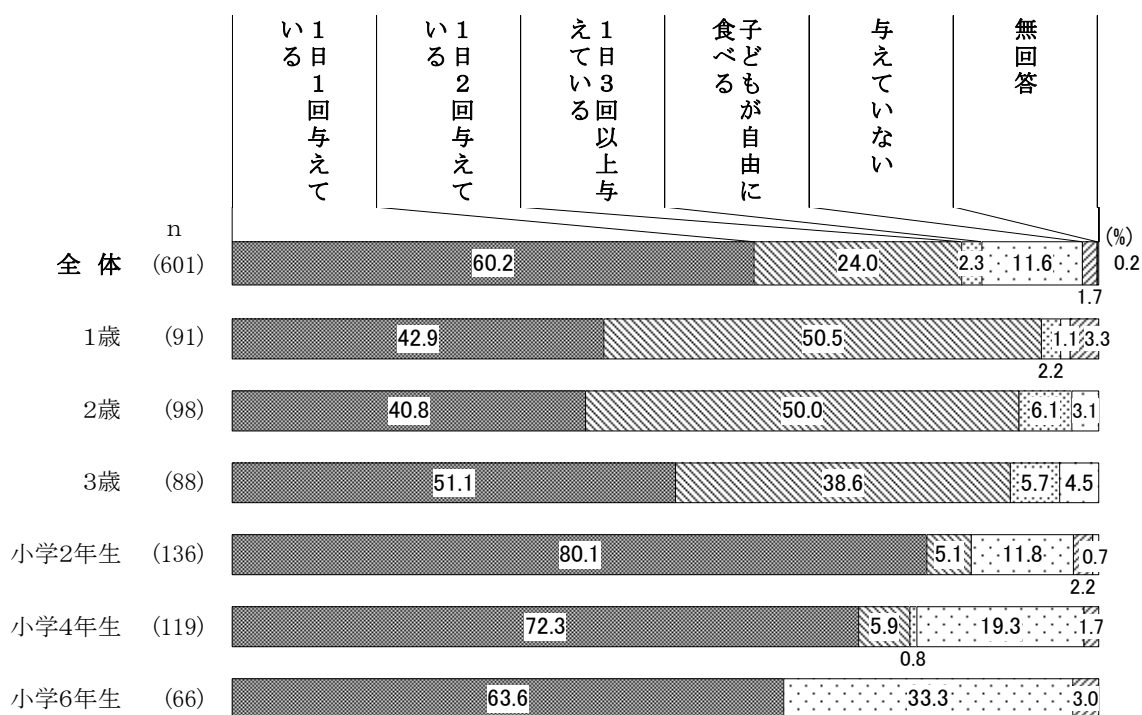
(3) おやつ

問5 おやつは与えていますか。(○は1つだけ)

おやつの与え方としては、「1日1回与えている」が60.2%で最も高く、次いで「1日2回与えている」(24.0%)となっている。

子どもの年齢別でみると、幼児にあたる層では「1日1回与えている」と「1日2回与えている」の合計が90%近くになる。一方、小学2年生、小学4年生では「1日1回与えている」が70%を超えているが、小学6年生では「子どもが自由に食べる」(33.3%)が全体に比べ高くなっている。

〈子どもの年齢(学年)／おやつの与え方〉



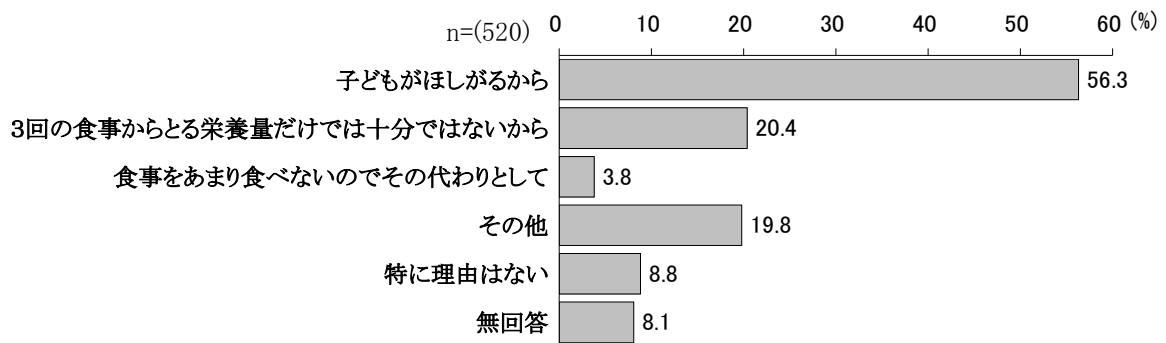
「1日1回～3回以上与えている」と回答した人のみ

付問5-1 おやつを与えている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

おやつを「1日1回から3回以上与えている」という人に対して、その理由を聞いたところ、「子どもがほしがかるから」が56.3%で最も高く、次いで「3回の食事からとる栄養量だけでは十分ではないから」(20.4%)となっている。

子どもの年齢別でみると、1歳、2歳では「3回の食事からとる栄養量だけでは十分ではないから」が3割を超えて、他の年齢より高くなっている。3歳では「子どもがほしがかるから」が69.0%と高くなっている。

〈子どもの年齢(学年)／おやつを与えている理由〉



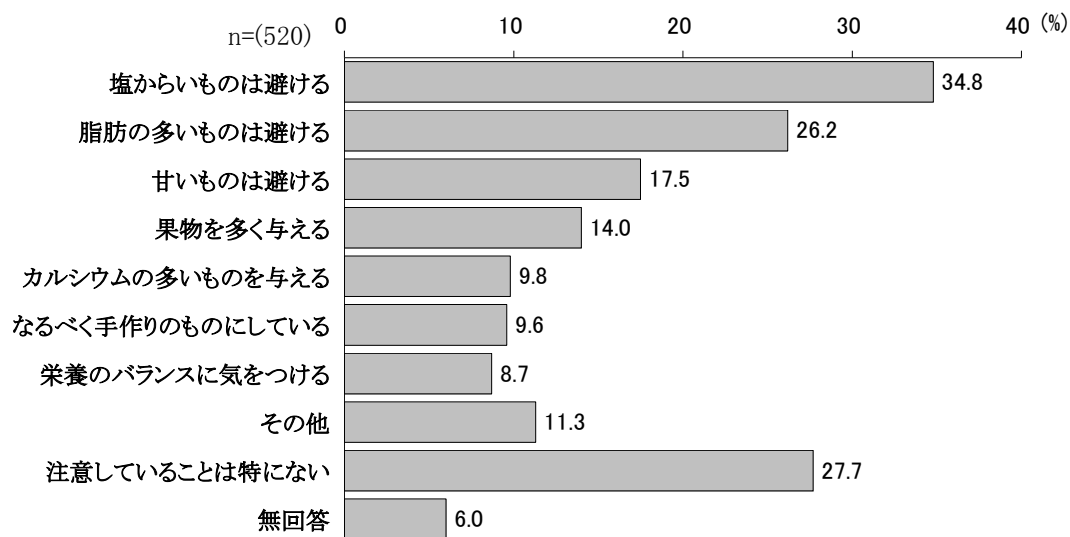
	子どもがほしがかるから	3回の食事からとる栄養量だけでは十分ではないから	食事をあまり食べないのでその代わりとして	その他	特に理由はない	無回答
全 体 (n=520)	56.3	20.4	3.8	19.8	8.8	8.1
1 歳 (n=87)	41.4	37.9	5.7	24.1	9.2	6.9
2 歳 (n=95)	53.7	31.6	7.4	12.6	9.5	8.4
3 歳 (n=84)	69.0	15.5	3.6	20.2	7.1	7.1
小学2年生 (n=116)	59.5	12.9	2.6	20.7	7.8	8.6
小学4年生 (n=94)	56.4	7.4	2.1	27.7	8.5	7.4
小学6年生 (n=42)	61.9	14.3	-	7.1	14.3	11.9

「1日1回～3回以上与えている」と回答した人のみ

付問5-2 何に注意しておやつを与えていますか。(〇はいくつでも)

年齢別でみると、幼児の保護者では、「塩からいものは避ける」「脂肪の多いものは避ける」「甘いものは避ける」等の配慮をしている人が多くなっている。一方、小学生の保護者では、いずれの学年でも、「注意していることは特にない」が3割を超えている。

〈子どもの年齢（学年）／おやつを与えるときに注意していること〉



	脂肪の多いものは避ける	塩からいものは避ける	甘いものは避ける	果物を多く与える	カルシウムの多いものを与える	栄養のバランスに気をつける	なるべく手作りのものにしている	その他	注意していることは特にない	無回答
全 体 (n=520)	26.2	34.8	17.5	14.0	9.8	8.7	9.6	11.3	27.7	6.0
1 歳 (n=87)	31.0	56.3	35.6	20.7	23.0	13.8	23.0	9.2	10.3	5.7
2 歳 (n=95)	28.4	43.2	25.3	21.1	15.8	12.6	9.5	6.3	22.1	4.2
3 歳 (n=84)	27.4	42.9	19.0	20.2	7.1	10.7	3.6	6.0	28.6	6.0
小学2年生 (n=116)	18.1	19.8	9.5	9.5	4.3	4.3	4.3	18.1	35.3	6.9
小学4年生 (n=94)	26.6	24.5	4.3	4.3	1.1	5.3	8.5	12.8	37.2	6.4
小学6年生 (n=42)	28.6	19.0	9.5	7.1	7.1	2.4	7.1	16.7	33.3	7.1

(4) 肥満度

問6 お子さんのおよその身長、体重を整数で教えてください。

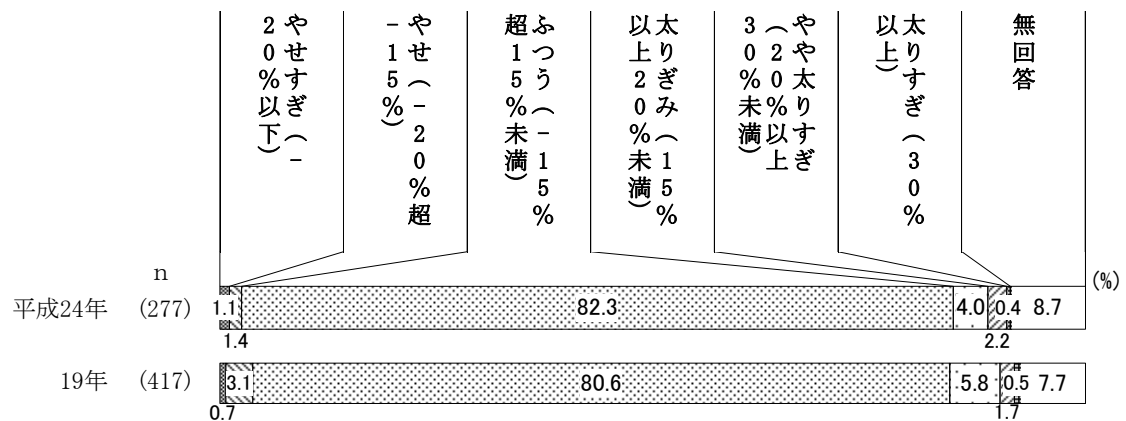
(小数点以下は四捨五入してください)

肥満度については、「ふつう」が82.3%を占めている。

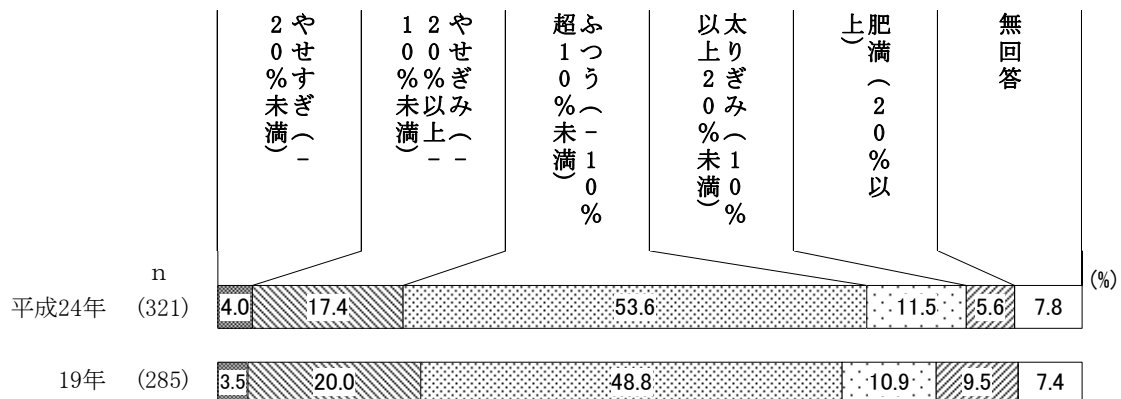
幼児・小学生別でみると、幼児では「ふつう」が82.3%となっているのに対して、小学生では「ふつう」が53.6%となっている。

平成19年の調査結果と比較すると、幼児、小学生とも「ふつう」が微増している。

〈 前回／肥満度（幼児） 〉



〈 前回／肥満度（小学生） 〉



※肥満度の判定区分は、幼児については幼児の身長体重曲線に基づく判定区分、小学生については日比式を採用している。

4. 身体活動・運動

(1) 子どもの外遊び

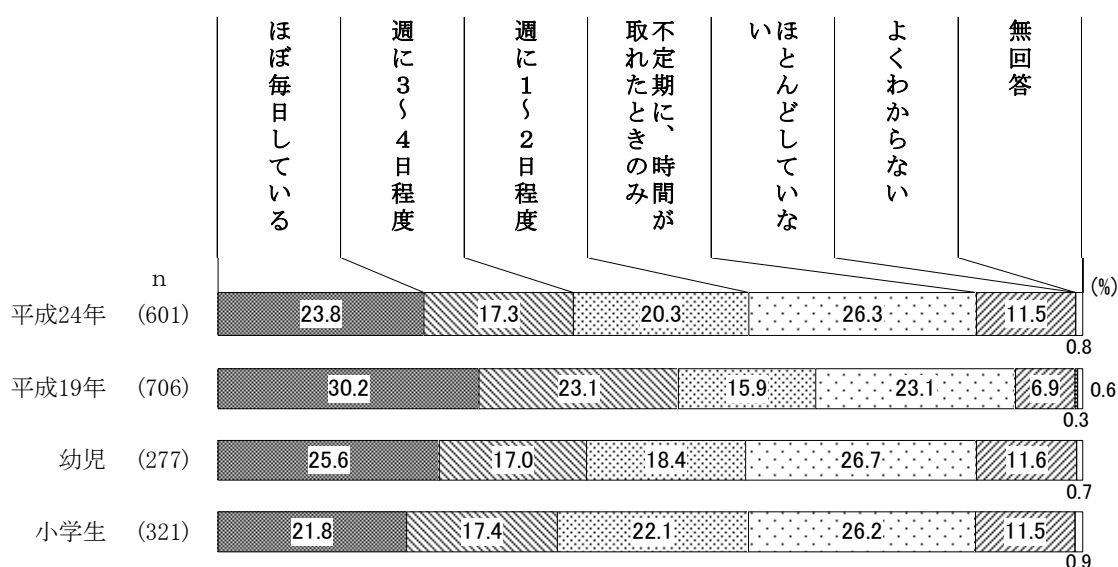
問7 お子さんは、どのくらい外遊びをしますか。(保育園、幼稚園、学校などに通っている場合は、帰宅してからの時間の外遊び) (〇は1つだけ)

子どもの外遊びの頻度は、「不定期に、時間が取れたときのみ」が26.3%で最も高く、次いで「ほぼ毎日している」(23.8%)となっている。一方、「ほとんどしていない」が11.5%となっている。

平成19年の調査結果と比較すると、定期的に外遊びをしている割合が減少し、「不定期に、時間が取れたときのみ」が増加している。

幼児・小学生別でみると、幼児では「ほぼ毎日している」が25.6%と小学生(21.8%)より高くなっている。

〈 前回、幼児・小学生／子どもの外遊びの頻度 〉



(2) テレビゲーム等で遊ぶ時間

お子さんが小学生の場合のみ

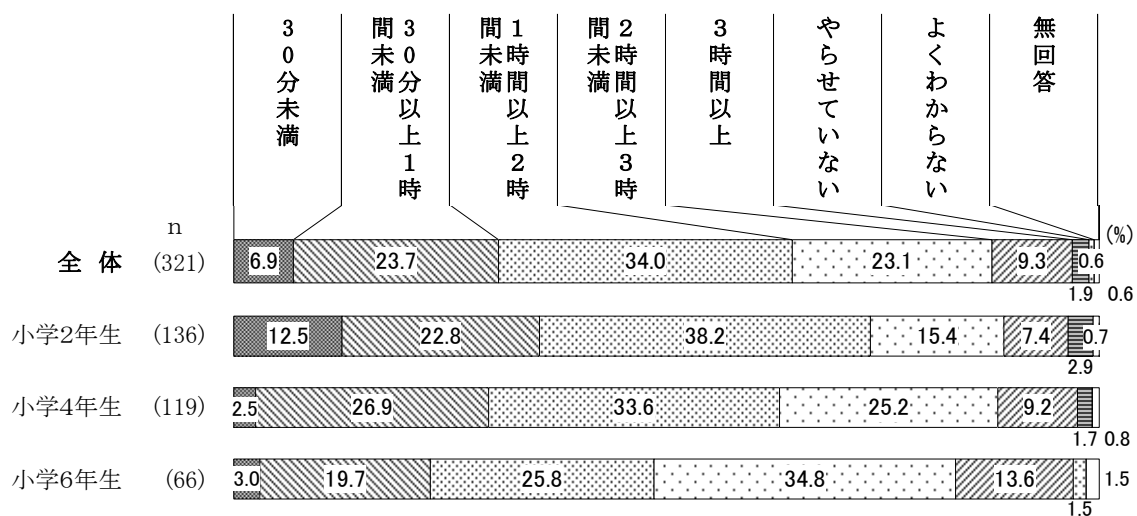
問8 1日の中で、テレビゲームなどをしたり、テレビをみたり、インターネットで遊んでいる時間は平均してどのくらいですか。(〇は1つだけ)

子ども(小学生)がテレビゲーム・テレビ視聴・インターネットする時間は、「1時間以上2時間未満」が34.0%で最も高く、次いで「30分以上1時間未満」(23.7%)となっている。

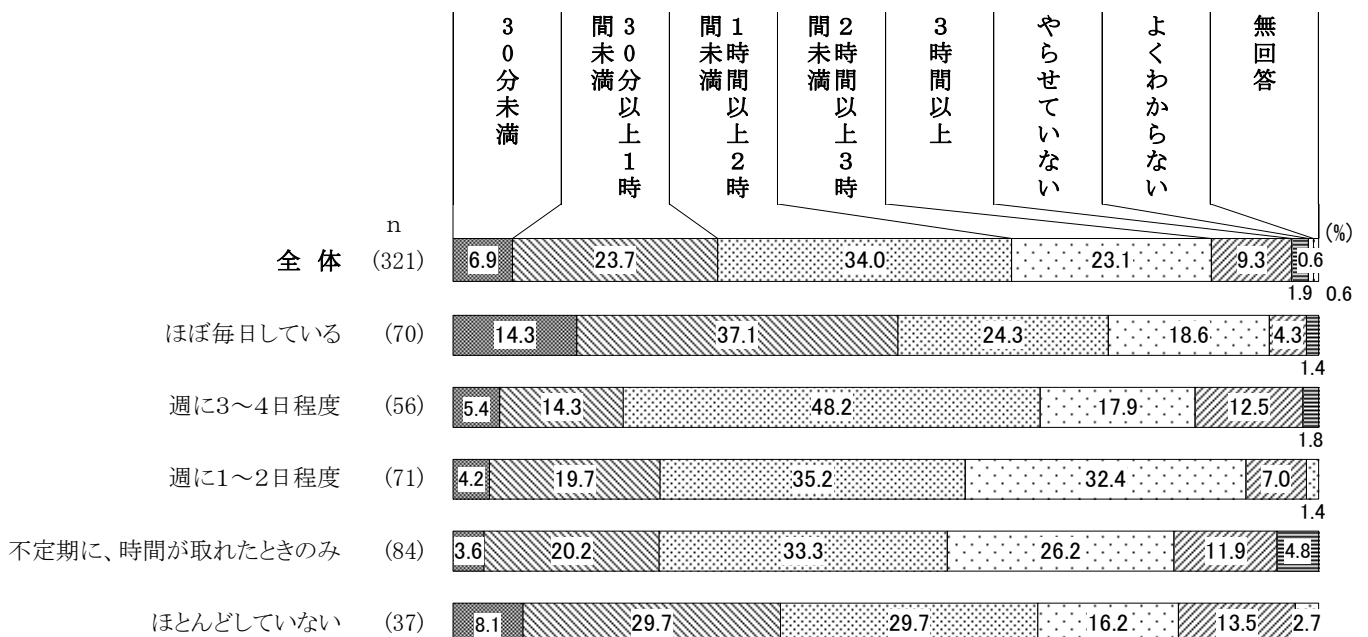
年齢別でみると、小学校2年生では「1時間以上2時間未満」が38.2%と高くなっている。

外遊びの時間との関係でみると、外遊びが多い層ほど、テレビゲーム等で遊ぶ時間が短くなる傾向がある。

〈子どもの学年／子どもがテレビゲーム・テレビ・インターネットで遊ぶ時間〉



〈子どもの外遊びの頻度／子どもがテレビゲーム・テレビ・インターネットで遊ぶ時間〉



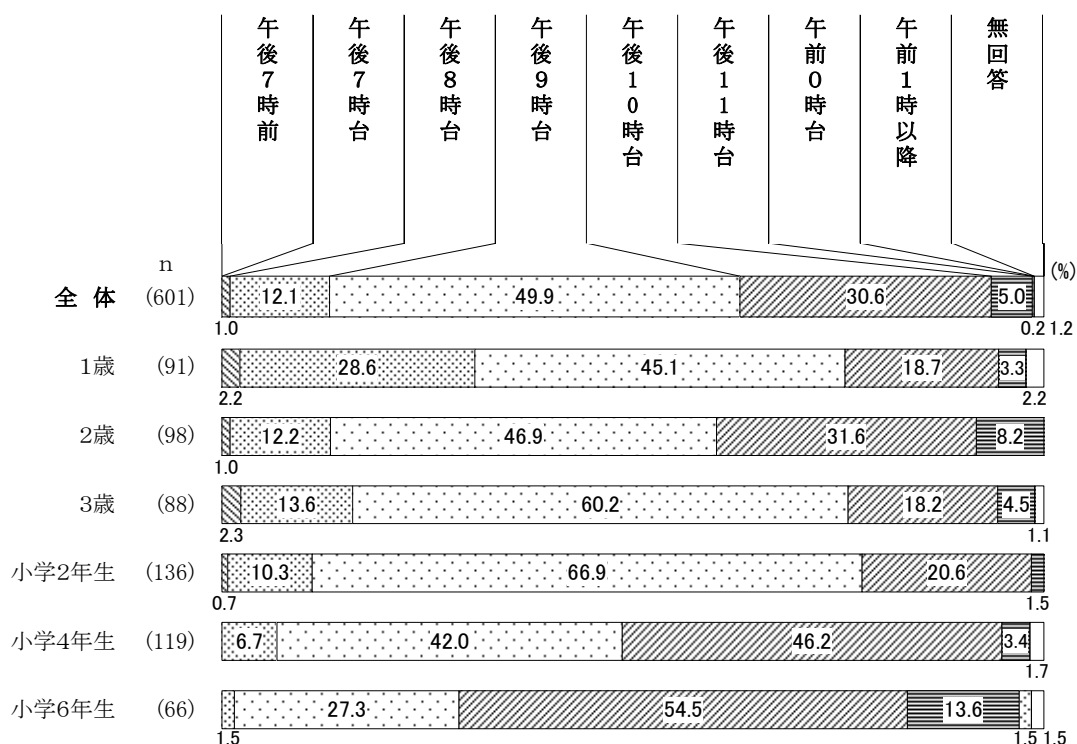
5. 休養・こころの健康づくり

(1) 子どもの睡眠時間

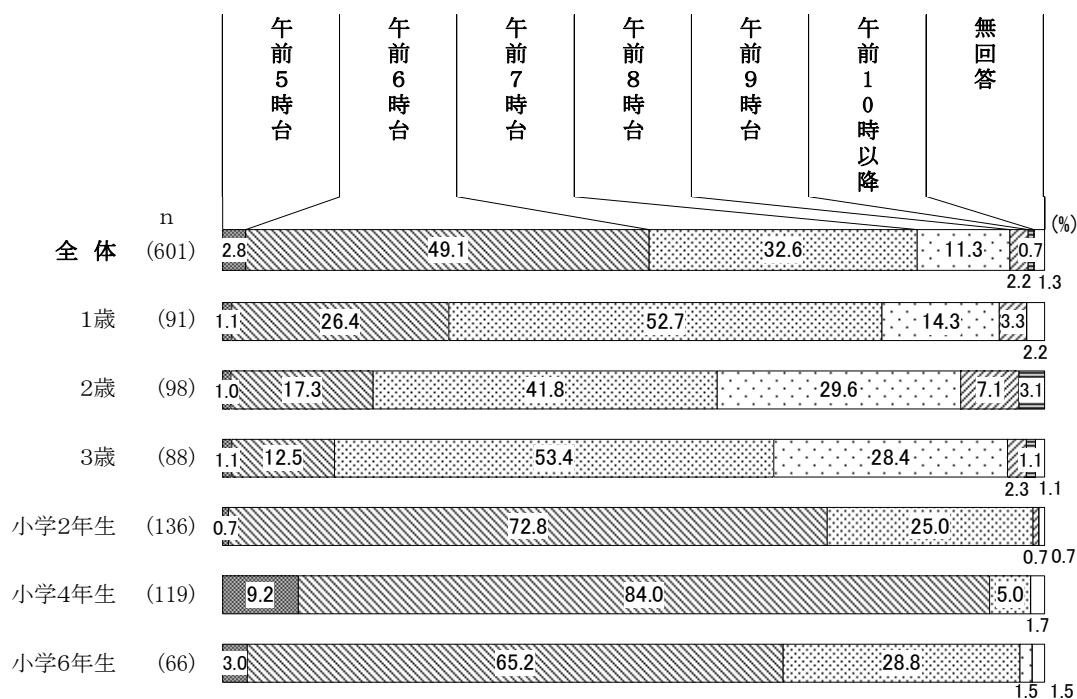
問9 お子さんの就寝時間と起床時間を24時間表記（例：夜11時なら23時）でお答えください。

子どもの就寝時間をみると、幼児では、「午後9時台まで」が約6割から7割を占めているが、小学4年生以降は10時台に就寝する子が増え、小学6年生では「午後10時台以降」が69.6%となっている。
起床時間では、幼児では午前7時台・8時台までに、小学生では午前7時台までに、起床している子が多くなっている。

〈子どもの年齢（学年）／子どもの就寝時間〉



〈子どもの年齢（学年）／子どもの起床時間〉



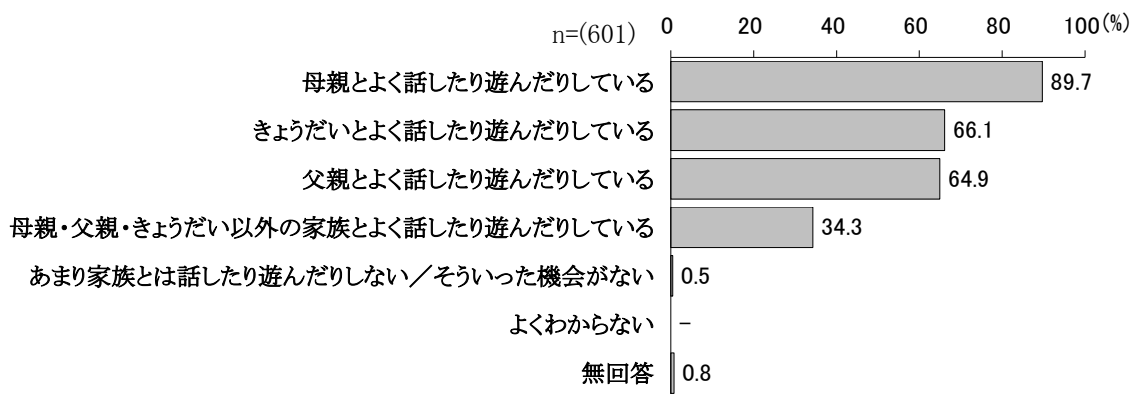
(2) 家族と子どものコミュニケーション

問10 あなたのご家族とお子さんのコミュニケーションの状況について、主に当てはまるものを選んでください。(お子さんからみた続柄でお答えください)(○はいくつでも)

家族と子どものコミュニケーションであてはまることは、「母親とよく話したり遊んだりしている」が89.7%で最も高く、以下「きょうだいとよく話したり遊んだりしている」(66.1%)、「父親とよく話したり、遊んだりしている」(64.9%)の順で続いている。

幼児・小学生別でみると、幼児では「母親とよく話したり遊んだりしている」と「父親とよく話したり、遊んだりしている」が小学生より高くなっている。一方、小学生では「きょうだいとよく話したり遊んだりしている」が幼児より高くなっている。

〈 幼児・小学生／子どもとのコミュニケーション 〉



	母親とよく話したり遊んだりしている	父親とよく話したり遊んだりしている	きょうだいとよく話したり遊んだりしている	母親・父親・きょうだい以外の家族とよく話したり遊んだりしている	あまり家族とは話したり遊んだりしない／そういった機会がない	よくわからない	無回答
全 体 (n=601)	89.7	64.9	66.1	34.3	0.5	—	0.8
幼児 (n=277)	97.8	73.6	53.8	40.8	—	—	0.7
小学生 (n=321)	82.6	57.6	76.9	28.7	0.9	—	0.9

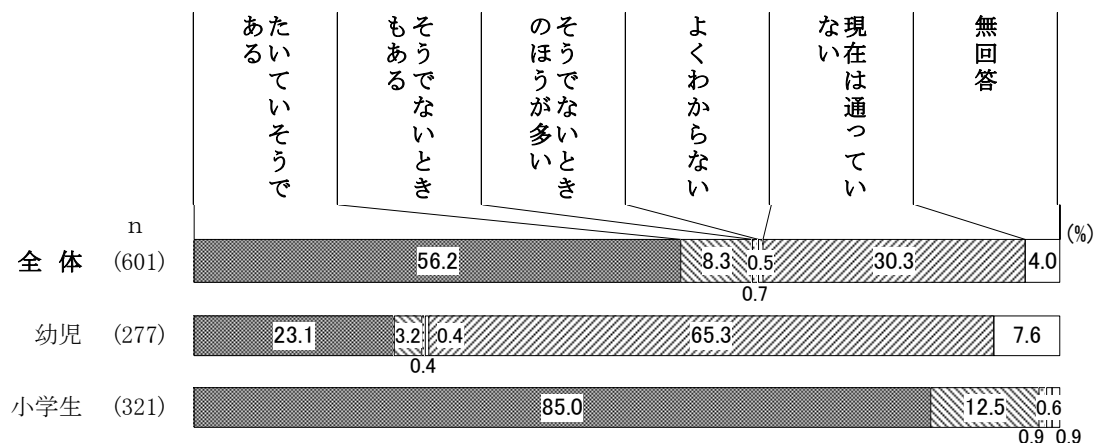
(3) 幼稚園・保育園・学校への通園・通学の様子

問11 お子さんは、幼稚園・保育園・学校に楽しそうに通っていますか。(○は1つだけ)

幼稚園・保育園・学校に楽しそうに通っているかについては、「たいていそうである」が56.2%と過半数を占めている。また、「現在は通っていない」は30.3%となっている。

幼児・小学生別でみると、小学生では「たいていそうである」の割合が高く、幼児では「現在は通っていない」の割合が高くなっている。

〈 幼児・小学生／幼稚園・保育園・学校に楽しそうに通っているか 〉



6. たばこ

(1) 家族の喫煙状況

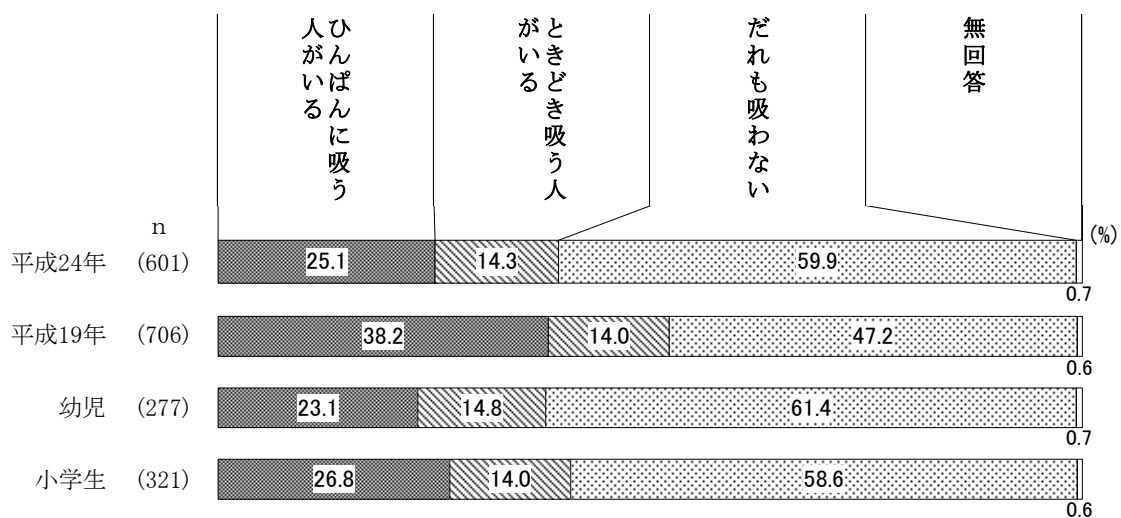
問12 家族の方は、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

家族の喫煙については、「だれも吸わない」が59.9%で最も高く、次いで「ひんぱんに吸う人がある」(25.1%)となっている。

平成19年の調査の結果と比較すると、今回「だれも吸わない」が59.9%と、前回の47.2%から大幅に増加している。

幼児・小学生別でみても、大きな差はみられない。

〈 幼児・小学生／家族における喫煙者の有無 〉



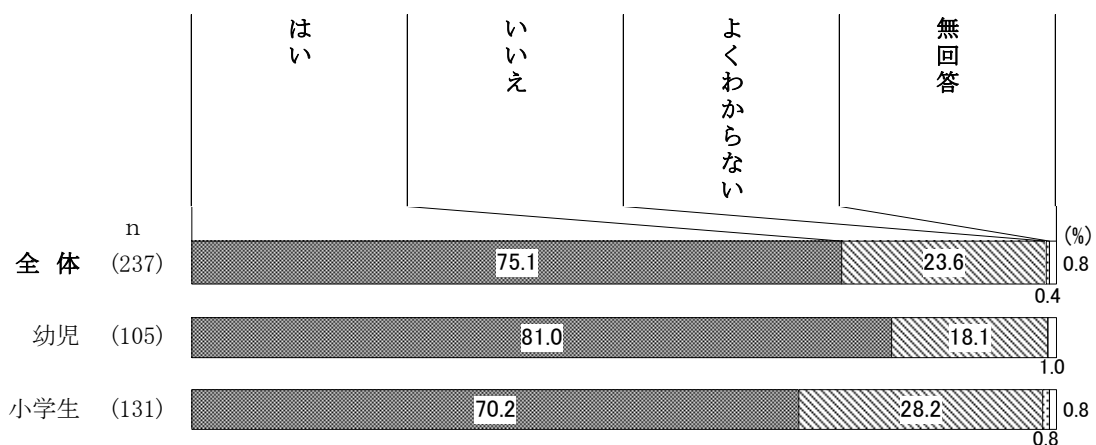
問12で「ひんぱんに吸う人がある」「ときどき吸う人がある」家庭のみ

付問12-1 お子さんの前では吸わないようにしていますか。(○は1つだけ)

家庭に喫煙者がいる人に、子どもの前で喫煙しないようにしているか聞いたところ、「はい」が75.1%を占めている。

幼児・小学生別でみると、幼児では「はい」が81.0%と小学生(70.2%)を上回っている。

〈 幼児・小学生／子どもの前で喫煙しないようにしているか 〉



(2) 妊娠中の母親・家族の喫煙状況

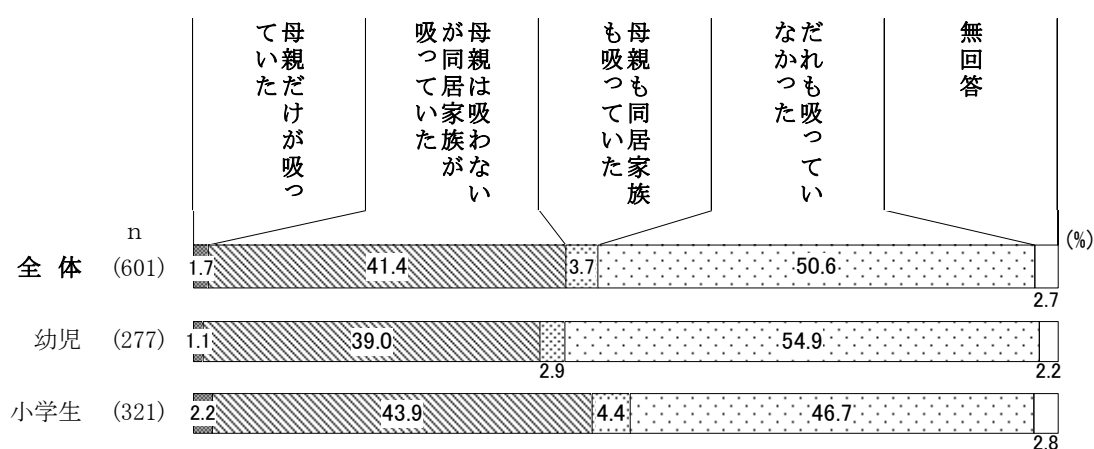
問13 お子さんを妊娠していた期間、お母さんや同居家族はたばこを吸っていましたか。

(○は1つだけ)

妊娠中の母親・同居家族の喫煙状況については、「だれも吸っていなかった」が50.6%で最も高く、次いで「母親は吸わないが同居家族が吸っていた」(41.4%)となっている。一方、「母親だけが吸っていた」と「母親も同居家族も吸っていた」を合わせて、妊娠中母親が喫煙していた家庭は5.4%となっている。

幼児・小学生別でみると、幼児では「だれも吸っていなかった」が54.9%と小学生(46.7%)を上回っている。

〈 幼児・小学生／妊娠中の母親・同居家族の喫煙状況 〉



問13で「吸っていた」同居家族がいた家庭のみ

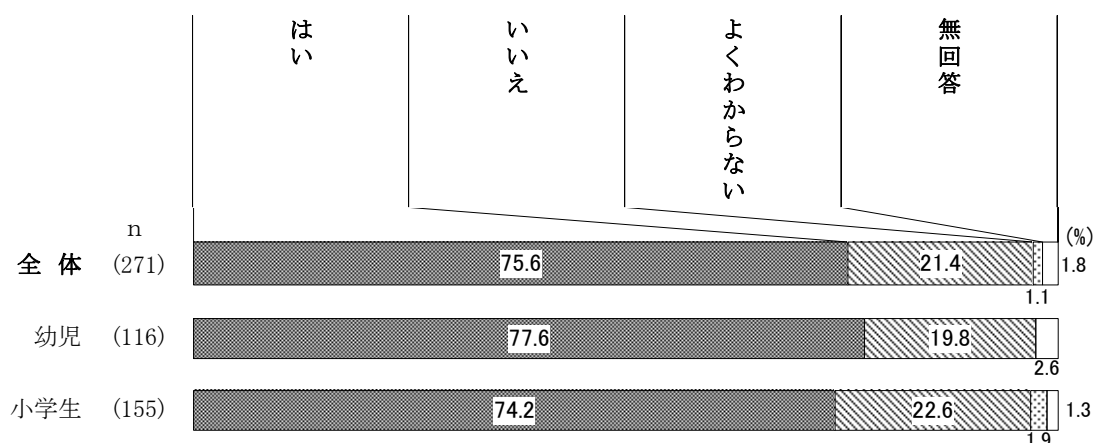
付問13-1 妊娠しているお母さんの前では吸わないようにしていましたか。

(○は1つだけ)

同居家族が母親の前で喫煙しないようにしていたかについては、「はい」が75.6%を占めている。

幼児・小学生別でみると、大きな差はみられない。

〈 幼児・小学生／同居家族は妊娠中の母親の前で喫煙しないようにしていたか 〉



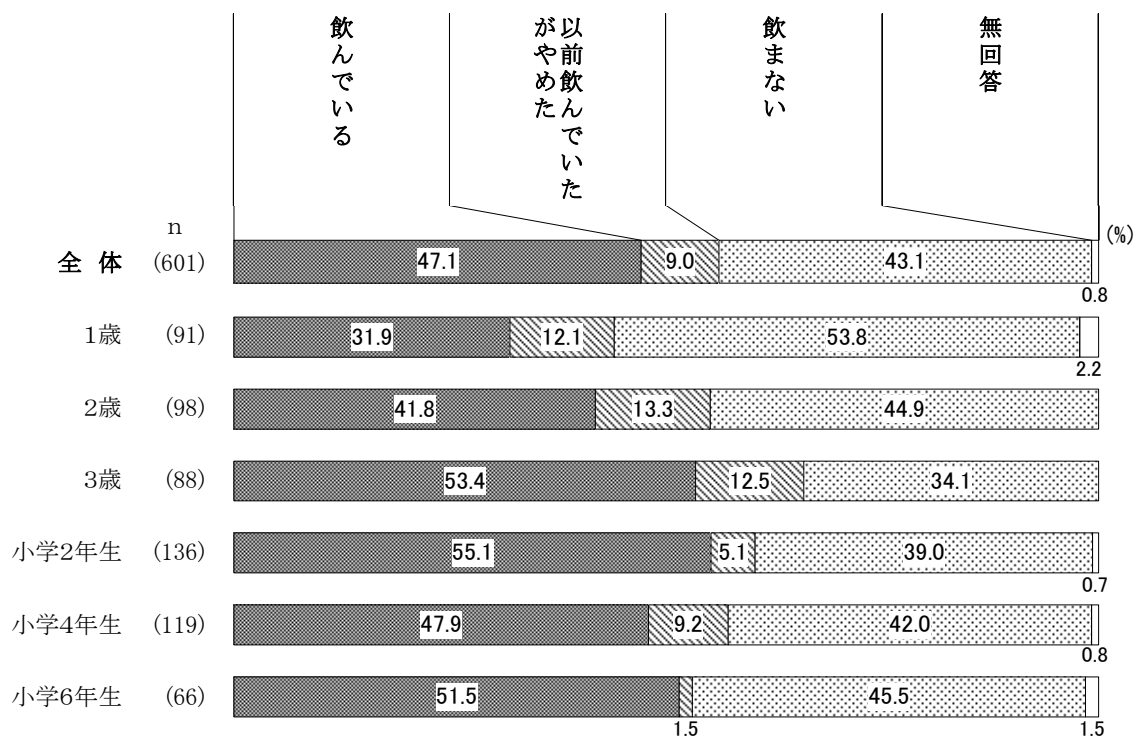
7. アルコール

(1) 記入者の飲酒状況

問14 あなたは、アルコールを飲みますか。(○は1つだけ)

飲酒については、「飲んでいる」が47.1%、「以前飲んでいたがやめた」「飲まない」が合計52.1%となっている。

〈子どもの年齢(学年)／記入者の飲酒状況〉



(2) 妊娠中の飲酒状況

問15 お子さんを妊娠していた期間、お母さんはアルコールを飲んでいましたか。

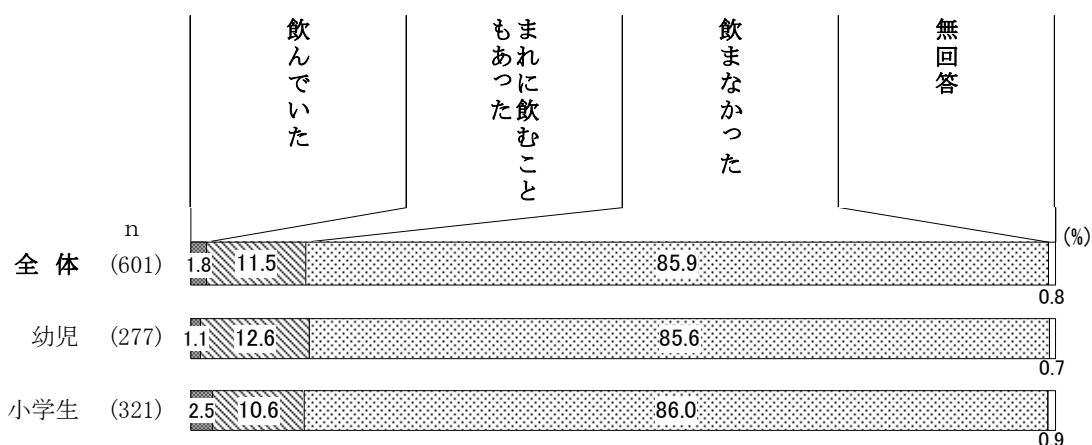
(○は1つだけ)

妊娠中の母親の飲酒状況については、「飲まなかった」が85.9%で最も高く、次いで「まれに飲むこともあった」(11.5%)となっている。

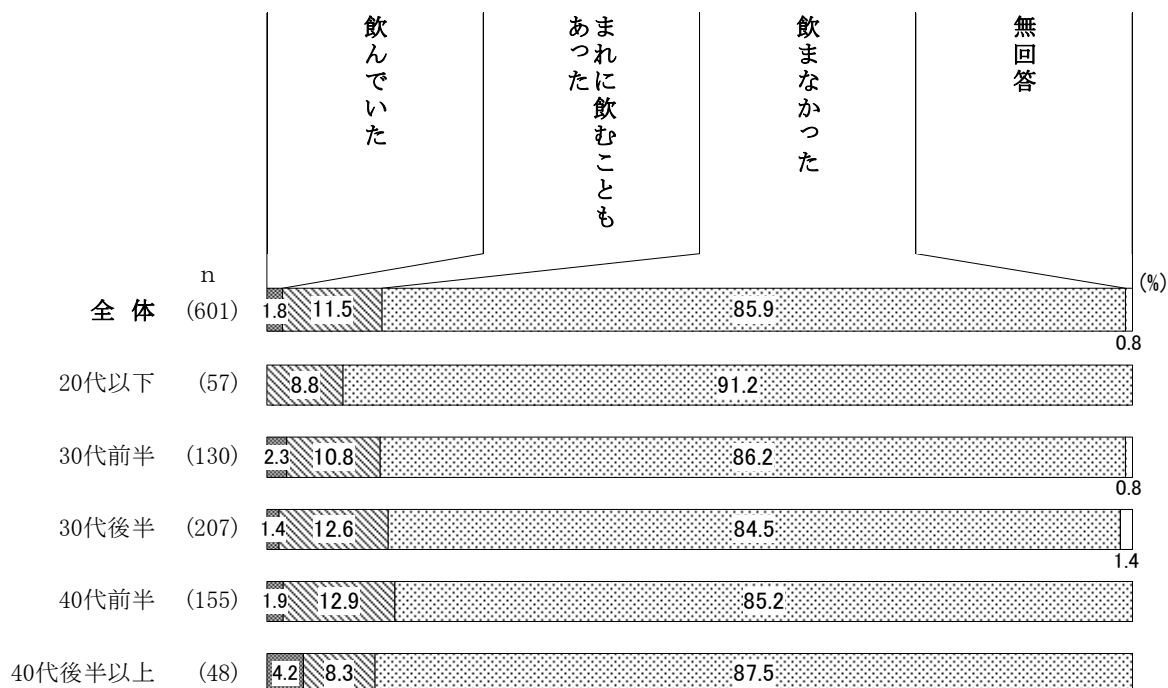
幼児・小学生別でみると、大きな差はみられない。

記入者の年齢別でみると、20代以下では「飲まなかった」が他の年代より高くなっている。

〈 幼児・小学生／妊娠中の母親の飲酒状況 〉



〈 記入者の年齢／妊娠中の母親の飲酒状況 〉



(3) 子どもに飲酒をすすめた経験

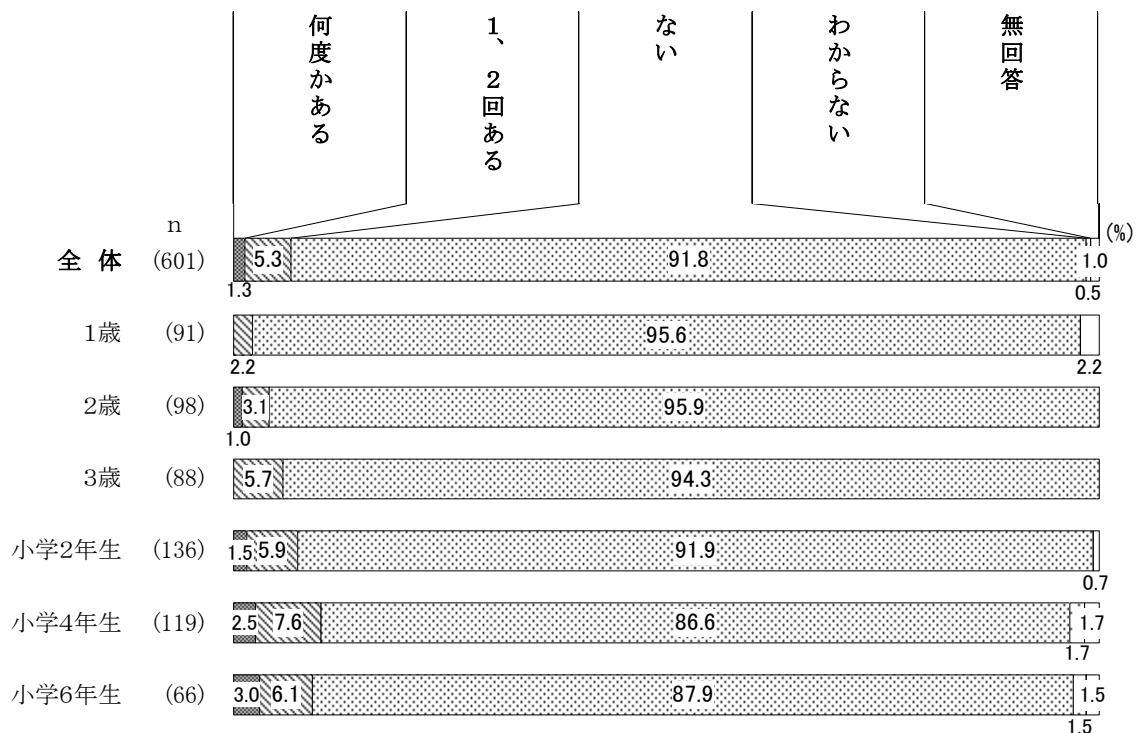
問16 お子さんに対して、自分や家族、親せきなどがアルコールをすすめたり飲ませたりしたことはありますか。(〇は1つだけ)

子どもにアルコールをすすめた経験の有無については、「何度かある」と「1、2回ある」の合計が6.6%となっている。

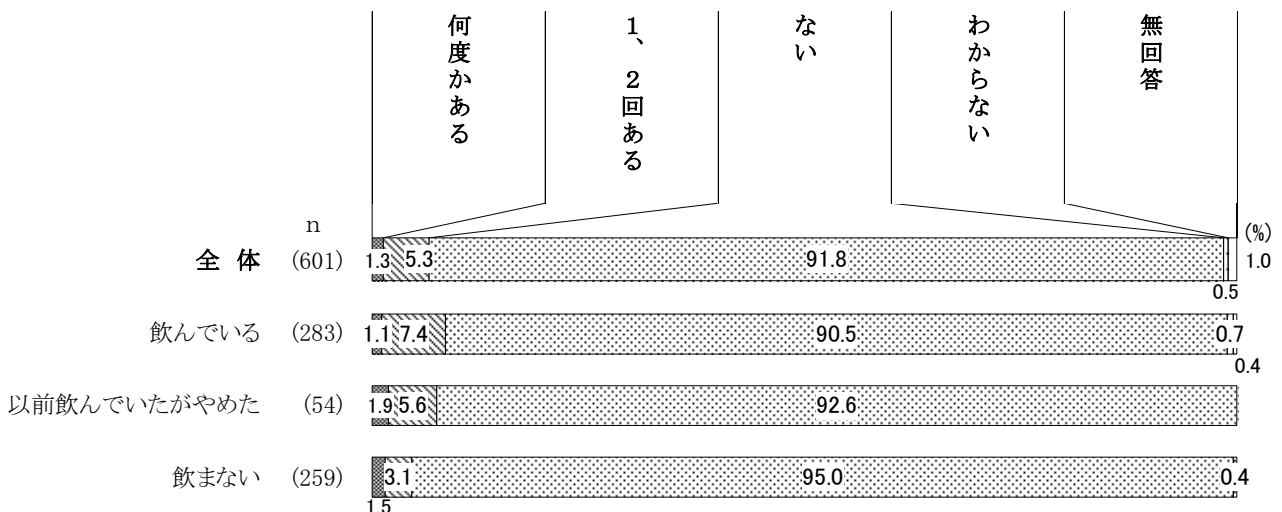
子どもの年齢別でみると、小学生では、やや比率が高くなっている。

記入者の飲酒状況別でみると、〈飲んでいる〉人では、子どもに飲酒をすすめた経験のある人が8.5%となっている。

〈子どもの年齢(学年)／子どもにアルコールをすすめた経験の有無(本人・家族・親戚)〉



〈記入者の飲酒状況／子どもにアルコールをすすめた経験の有無(本人・家族・親戚)〉



8. 歯の健康

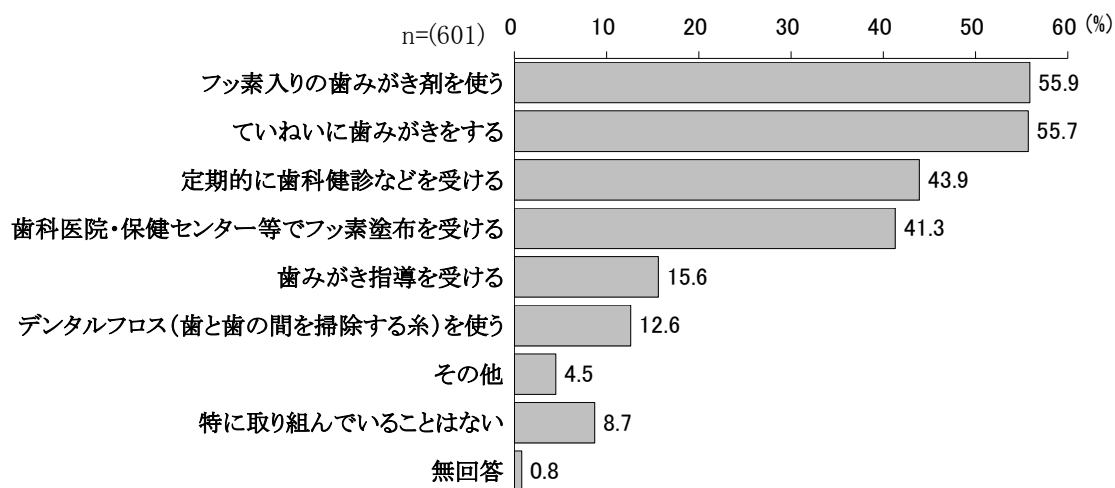
(1) 歯や歯ぐきの健康のための取り組み

問17 ふだん、お子さんの歯や歯ぐきの健康のために、どのようなことに取り組んでいますか。
(〇はいくつでも)

ふだん子どもの歯や歯ぐきの健康のために取り組んでいることとしては、「フッ素入りの歯みがき剤を使う」(55.9%)と「ていねいに歯みがきをする」(55.7%)の2項目が、いずれも5割を超えて特に高くなっている。また、「定期的に歯科健診などを受ける」(43.9%)「歯科医院・保健センター等でフッ素塗布を受ける」(41.3%)も高くなっている。

子どもの年齢別でみると、2歳、3歳では「ていねいに歯みがきをする」が7割を超えている。また、3歳、小学2年生では、「フッ素入りの歯磨剤を使う」が6割から7割と他の年齢に比べて高くなっている。

〈子どもの年齢(学年)／子どもの歯や歯ぐきの健康のための取り組み〉



	定期的に 歯科健診など を受ける	歯科医院・保健センター 等でフッ素塗布を受け る	歯みがき指導を受ける	デンタルフロス(歯と歯 の間に掃除する糸)を使 う	ていねいに歯みがきを する	フッ素入りの歯みが 剤を使う	その他	特に取り組 んでいるこ とはない	無回 答
全 体 (n=601)	43.9	41.3	15.6	12.6	55.7	55.9	4.5	8.7	0.8
1 歳 (n=91)	13.2	19.8	16.5	2.2	67.0	30.8	6.6	15.4	2.2
2 歳 (n=98)	32.7	70.4	14.3	7.1	72.4	59.2	1.0	2.0	1.0
3 歳 (n=88)	45.5	70.5	19.3	6.8	79.5	71.6	3.4	1.1	-
小学2年生 (n=136)	61.8	41.2	19.9	30.1	45.6	66.2	4.4	6.6	-
小学4年生 (n=119)	47.9	21.8	8.4	10.1	37.0	52.1	4.2	16.0	0.8
小学6年生 (n=66)	57.6	24.2	15.2	10.6	39.4	48.5	9.1	10.6	1.5

9. 子育て

(1) 子育てに関する考え

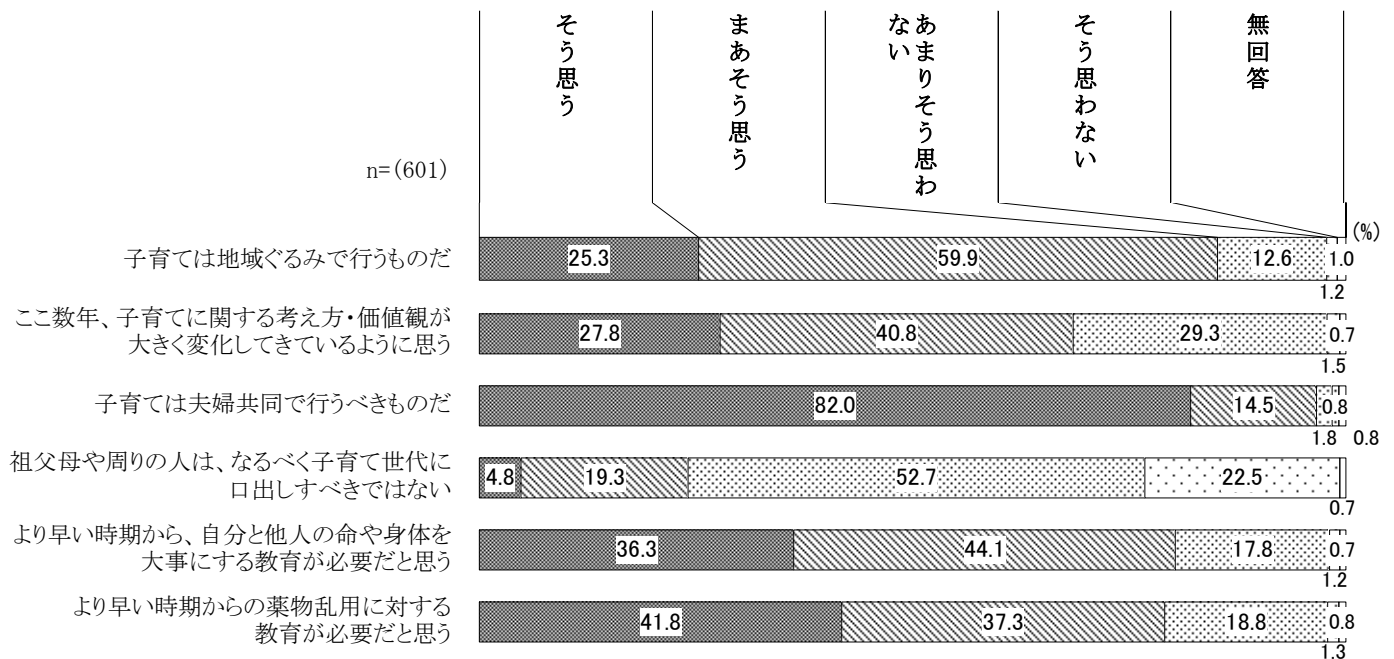
問18 以下のそれぞれの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号を選んでください。
(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

子育てに関する考えをみると、〈子育ては夫婦共同で行うべきものだ〉については82.0%が「そう思う」と回答している。

〈子育ては地域ぐるみで行うものだ〉〈ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う〉〈より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う〉については、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた《思う》が約7割から約8割を占めている。

〈祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない〉については、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせて75.2%と、「そう思う」と「まあそう思う」の合計(24.1%)を上回っている。

〈子育てに関する考え〉



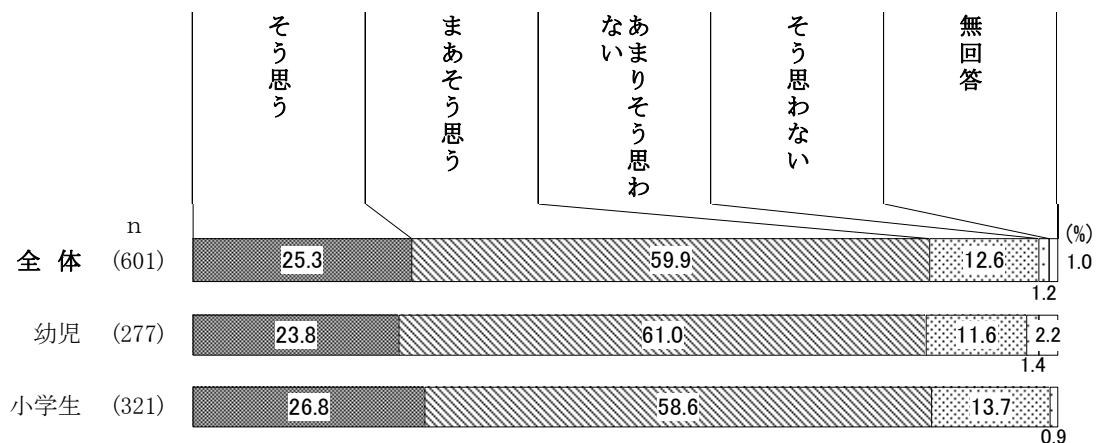
子育ては地域ぐるみで行うものだ

「子育ては地域ぐるみで行うものだ」は、「そう思う」「まあそう思う」の割合が約8割を占めている。

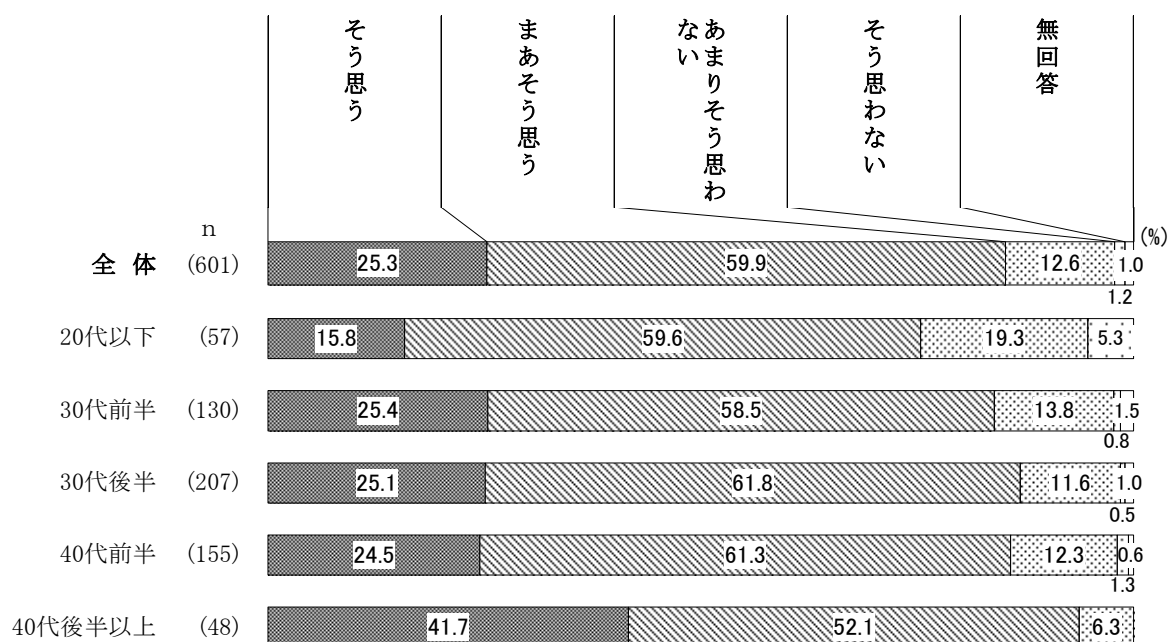
幼児・小学生別でみると、小学生では「そう思う」の割合が幼児よりやや高くなっている。

記入者の年齢別でみると、40代後半以上では「そう思う」の割合が高くなっている。一方、20代以下では「あまりそう思わない」の割合が高くなっている。

〈 幼児・小学生／子育ては地域ぐるみで行うものだ 〉



〈 記入者の年齢／子育ては地域ぐるみで行うものだ 〉



ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う

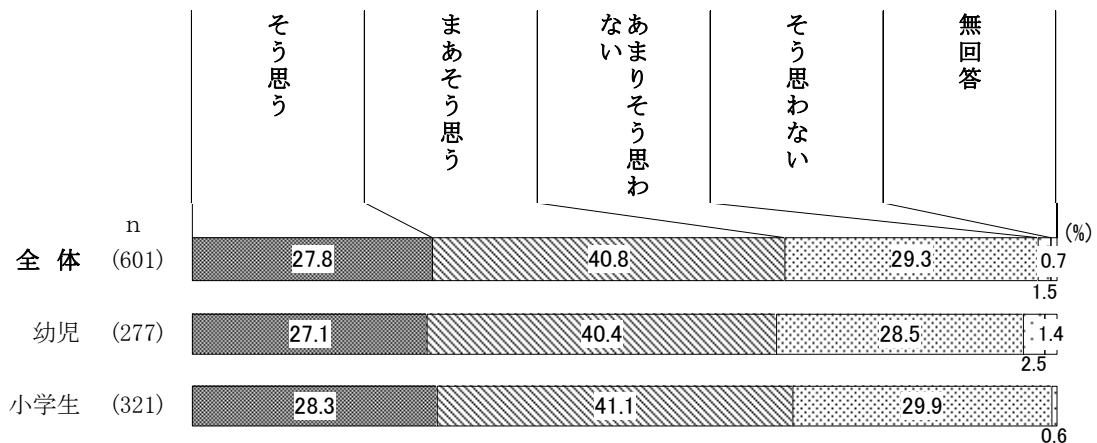
「ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う」は、「そう思う」が27.8%となっており、前回調査時の37.5%から減っている。

幼児・小学生別でみると、大きな差はみられない。

記入者の年齢別でみると、20代以下で「そう思う」が最も高く、年齢とともに漸減している。

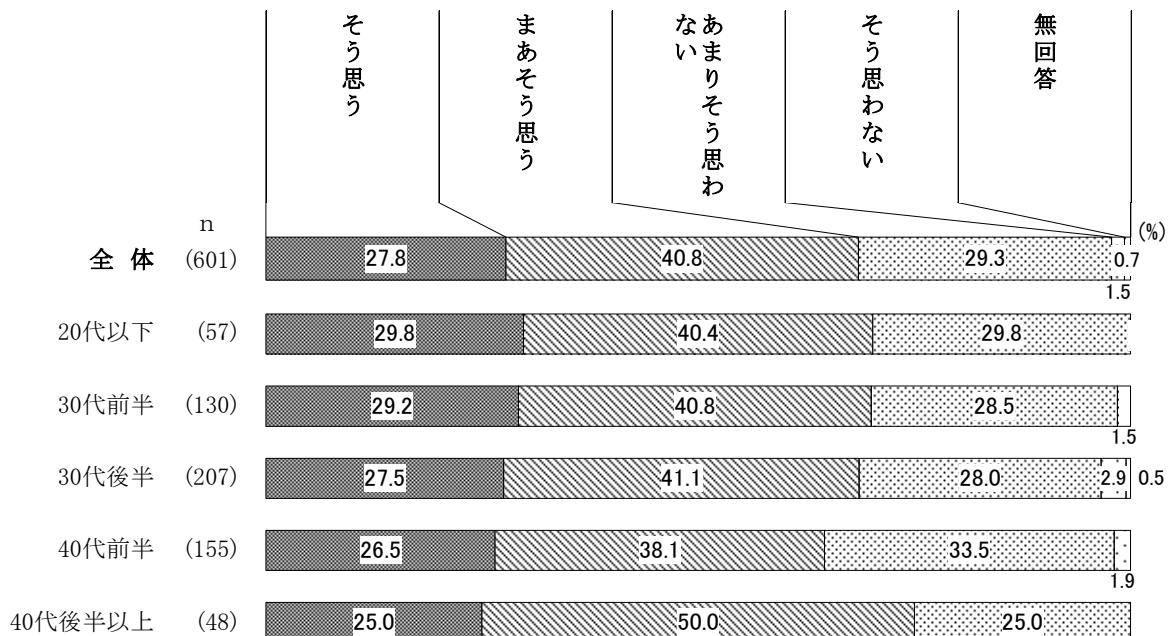
〈 幼児・小学生／

ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う 〉



〈 記入者の年齢／

ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う 〉



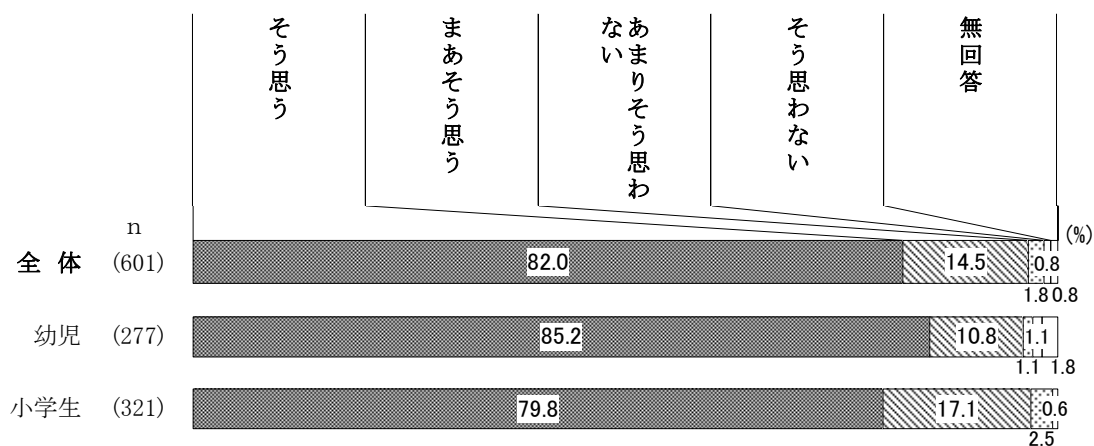
子育ては夫婦共同で行うべきものだ

「子育ては夫婦共同で行うべきものだ」は、「そう思う」「まあそう思う」が9割以上と、高い割合を占めている。

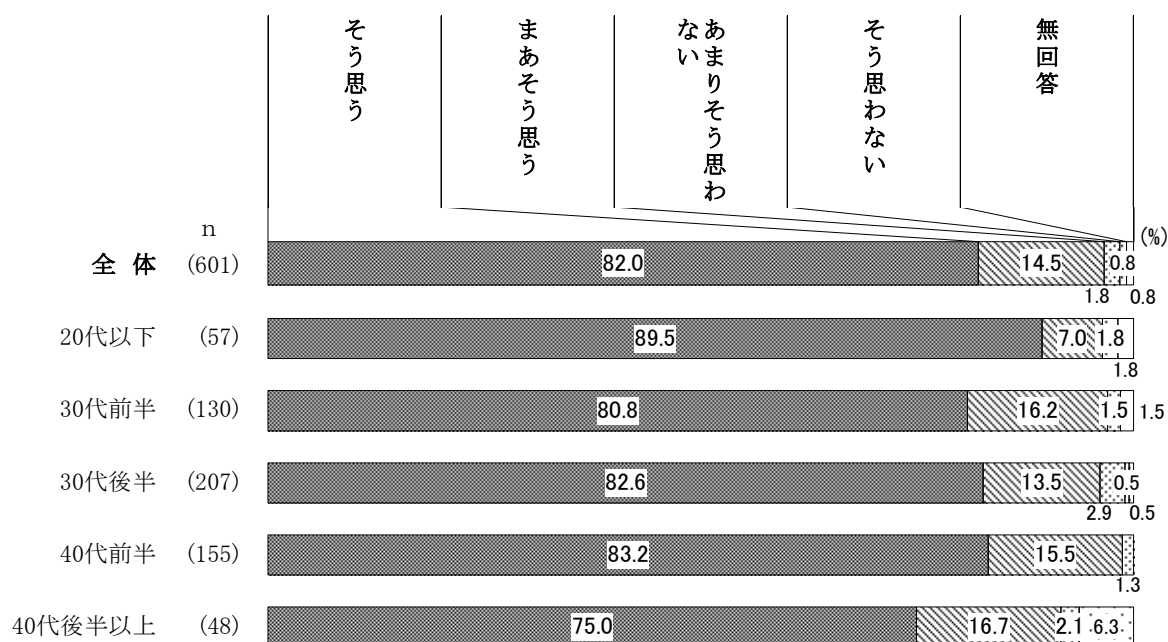
幼児・小学生別でみると、幼児では「そう思う」が小学生よりやや高くなっている。

記入者の年齢別でみると、20代以下で「そう思う」が9割近くを占めている。

〈 幼児・小学生／子育ては夫婦共同で行うべきものだ 〉



〈 記入者の年齢／子育ては夫婦共同で行うべきものだ 〉



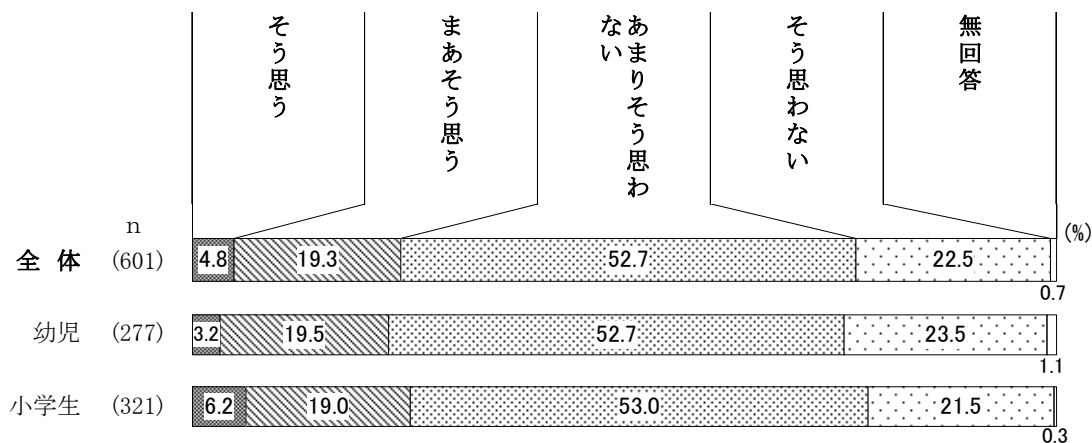
祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない

「祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない」は、「あまりそう思わない」の割合が52.7%と最も高くなっている。

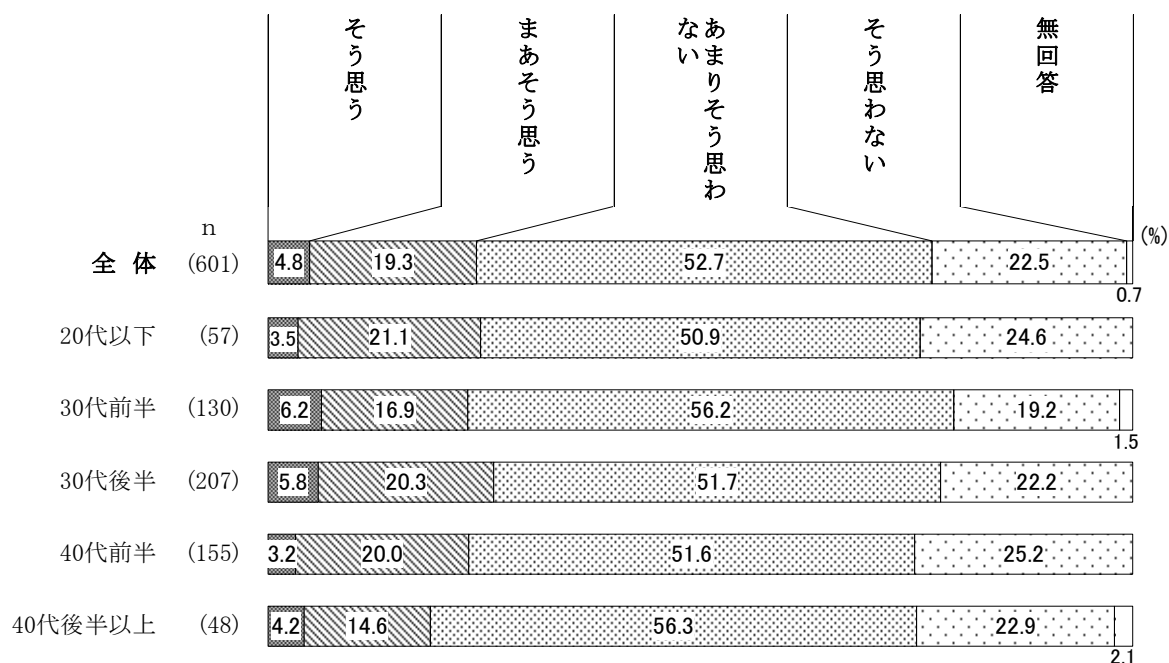
幼児・小学生別でみると、小学生では「そう思う」が幼児よりやや高くなっている。

記入者の年齢別でみると、30代前半・後半では「そう思う」がやや高くなっている。

〈 幼児・小学生／祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない 〉



〈 記入者の年齢／祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない 〉



より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う

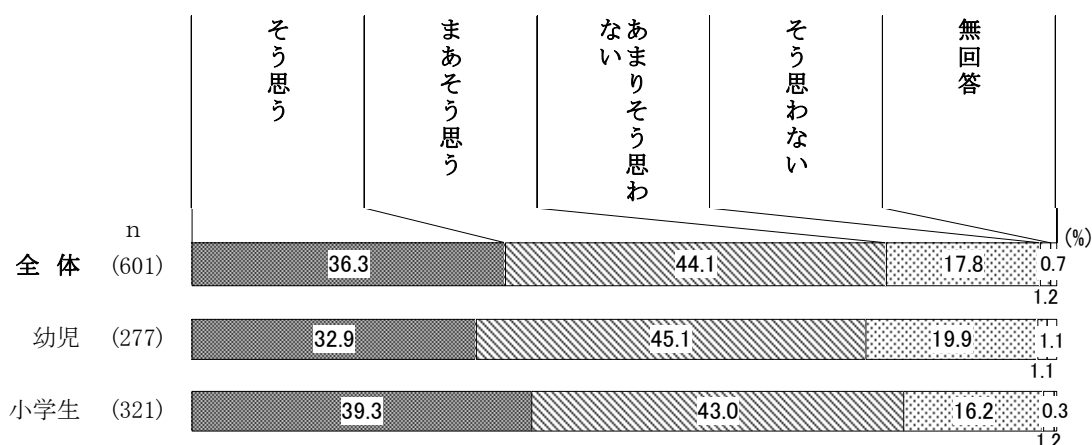
「より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育が必要」は、「そう思う」「まあそう思う」の合計が約8割を占めている。

幼児・小学生別でみると、小学生では「そう思う」が幼児よりやや高くなっている。

記入者の年齢別でみると、40代後半以上では「そう思う」が54.2%で、他の年齢層が30%台のなか、高くなっている。

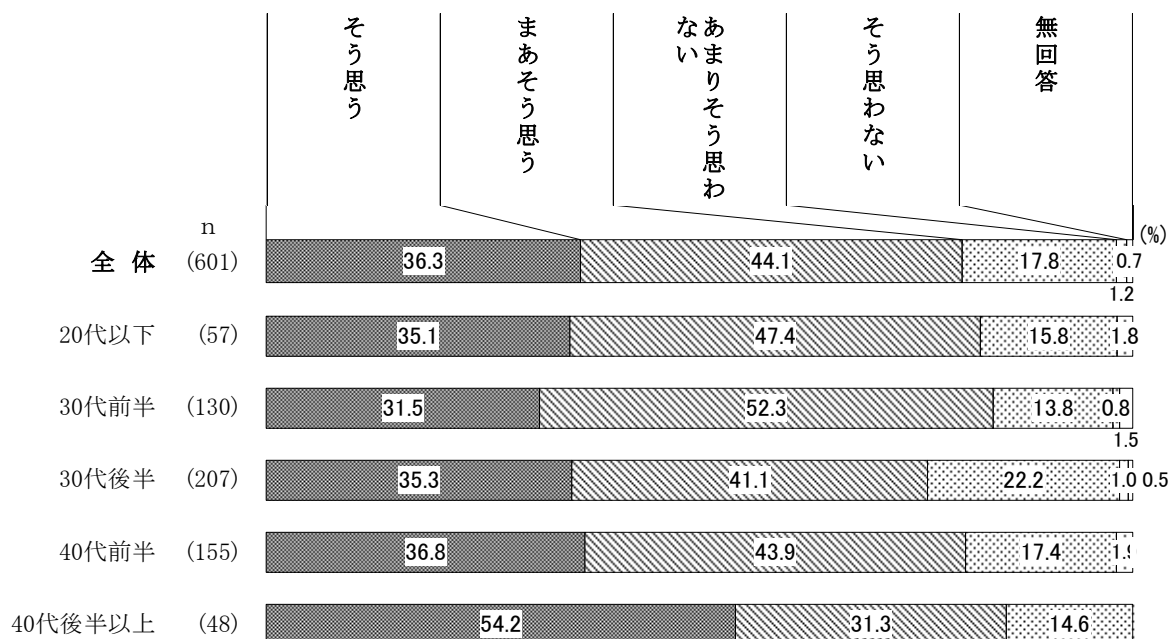
〈 幼児・小学生／

より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う 〉



〈 記入者の年齢／

より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う 〉



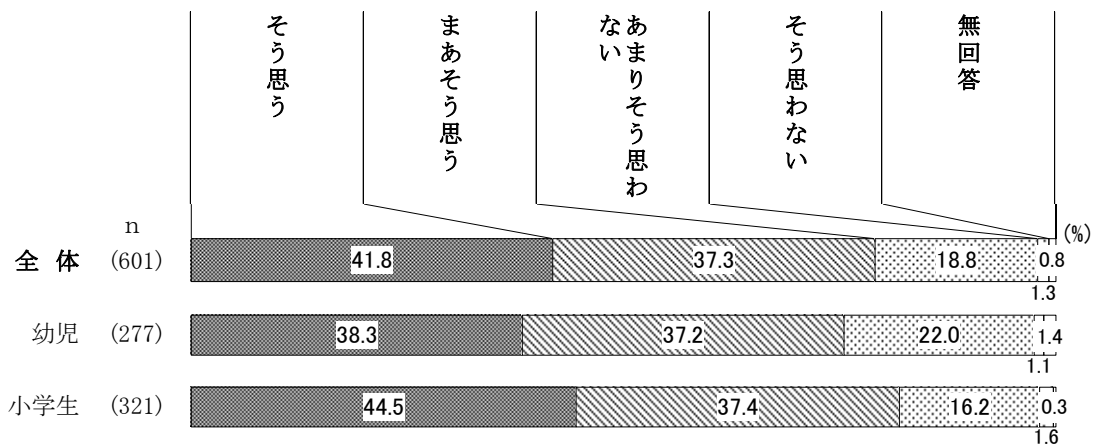
より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う

「より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う」は、「そう思う」「まあそう思う」の割合が79.1%と、高くなっている。

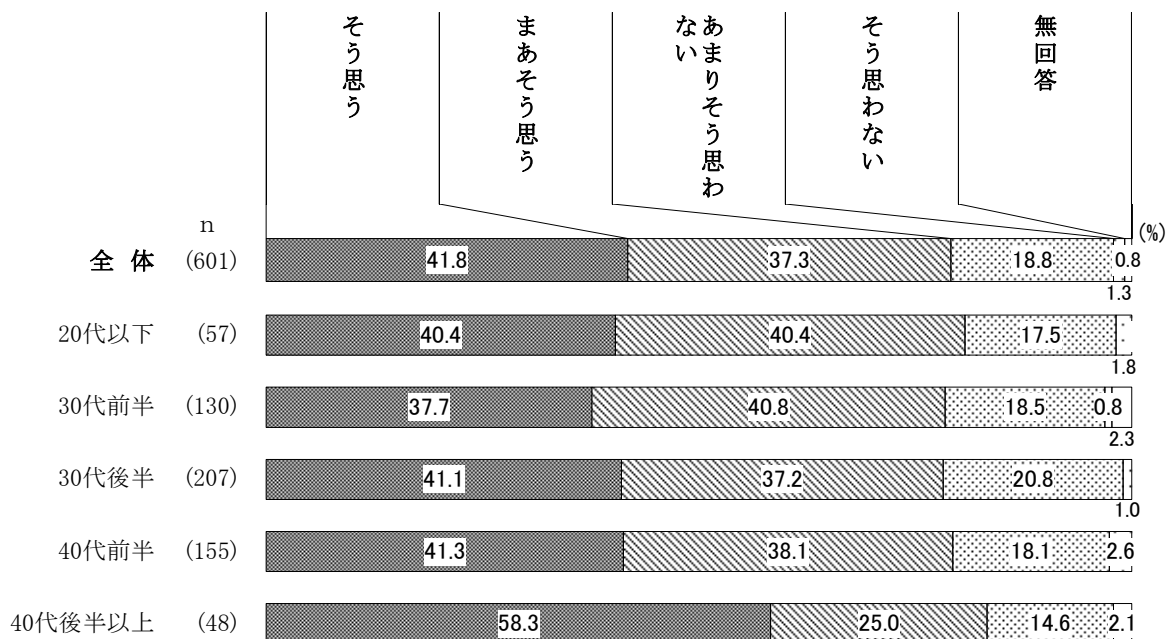
幼児・小学生別でみると、小学生では「そう思う」が44.5%と高くなっている。

記入者の年齢別でみると、40代後半以上で「そう思う」が58.3%と高くなっている。

〈 幼児・小学生／より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う 〉



〈 記入者の年齢／より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う 〉



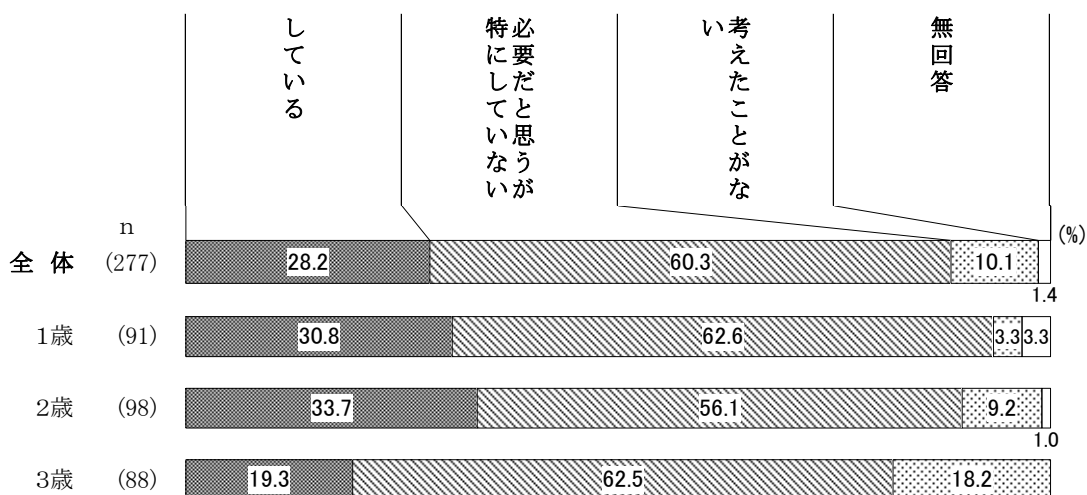
(2) 風呂場の事故防止

問19 (お子さんが幼児の場合のみ) あなたの家庭では、風呂場の事故予防のためにお子さんがドアを開けられないようにロックするなどの工夫をしていますか。(〇は1つだけ)

風呂場の事故防止のための工夫については、「必要だと思うが特にしていない」が60.3%で最も高く、次いで「している」(28.2%)となっている。一方、「考えたことがない」は10.1%となっている。

子どもの年齢別でみると、1歳、2歳では「している」が3割を超えて、3歳より高くなっている。

〈子どもの年齢／風呂場での事故防止のための工夫〉

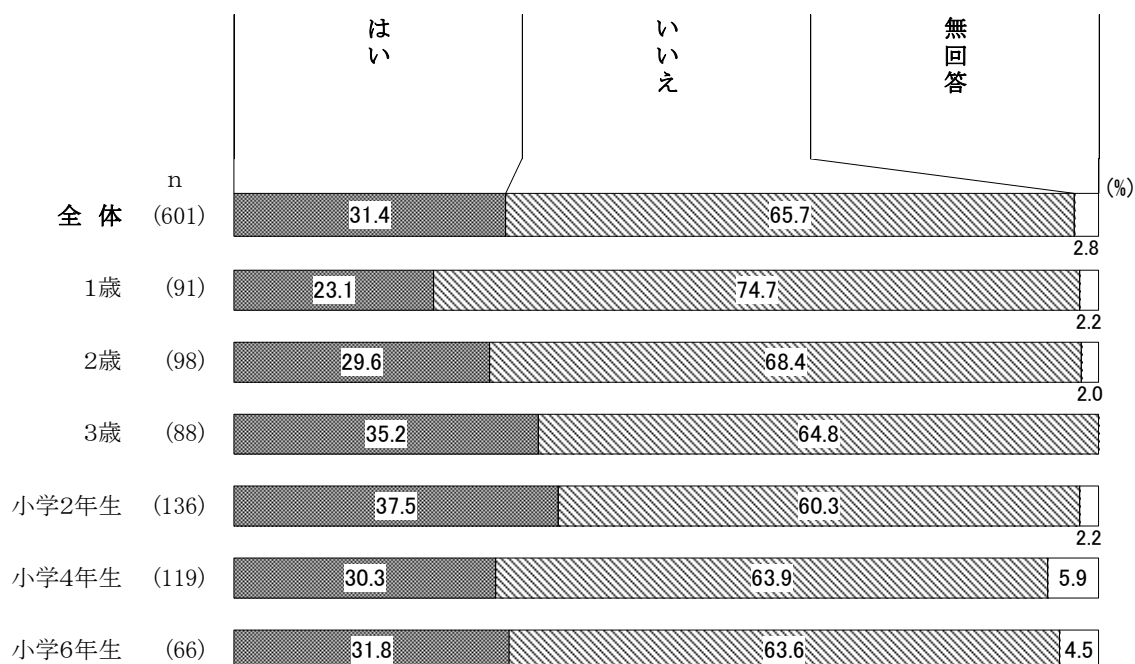


(3) 家庭内の事故

問20 お子さんは今までに、家庭内での事故やけがなどで医療機関を受診したことはありますか。(受診しても何も治療を受けなかった場合も含みます)。(〇は1つだけ)

家庭内の事故やけがによる医療機関の受診の有無については、「はい」が31.4%、「いいえ」が65.7%となっている。

〈子どもの年齢(学年)／家庭内での事故やけがなどで医療機関を受診したことがあるか〉



(4) 過去に起こった家庭内の事故

問20で「はい」と答えた方

付問20-1 過去に起こった主な家庭内での事故やけがについて教えてください。

家庭内で事故やけががあった年齢をみると、「1歳」が32.8%で最も高く、次いで「2歳」(23.3%)となっている。

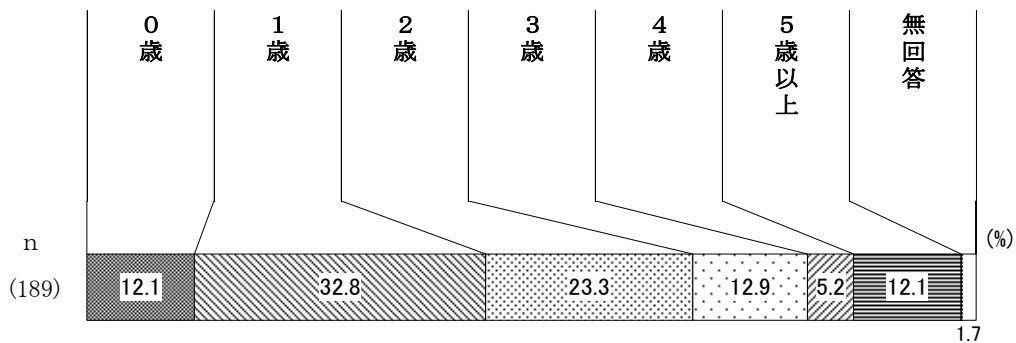
事故が起きた時間帯としては、「午前」が28.2%、「午後」が62.5%となっている。

事故が起きた場所としては、「居間」が53.4%で最も高く、次いで「階段」(14.3%)となっている。

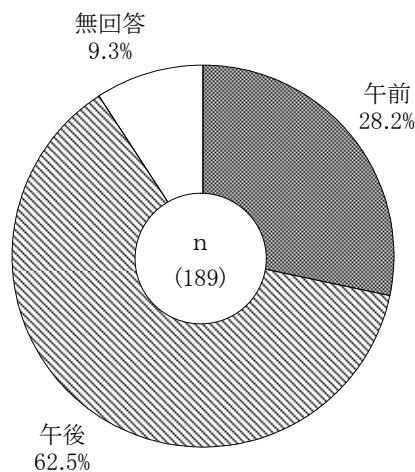
けがの内容については、「刺傷・切り傷」が38.1%で最も高く、以下「すり傷・打ち身」(28.0%)、「やけど」(20.1%)の順で続いている。

治療方法については、「その日で治療が終わった」が45.7%で最も高く、次いで「通院した」が37.9%となっている。一方、「治療をしなかった」が12.9%となっている。

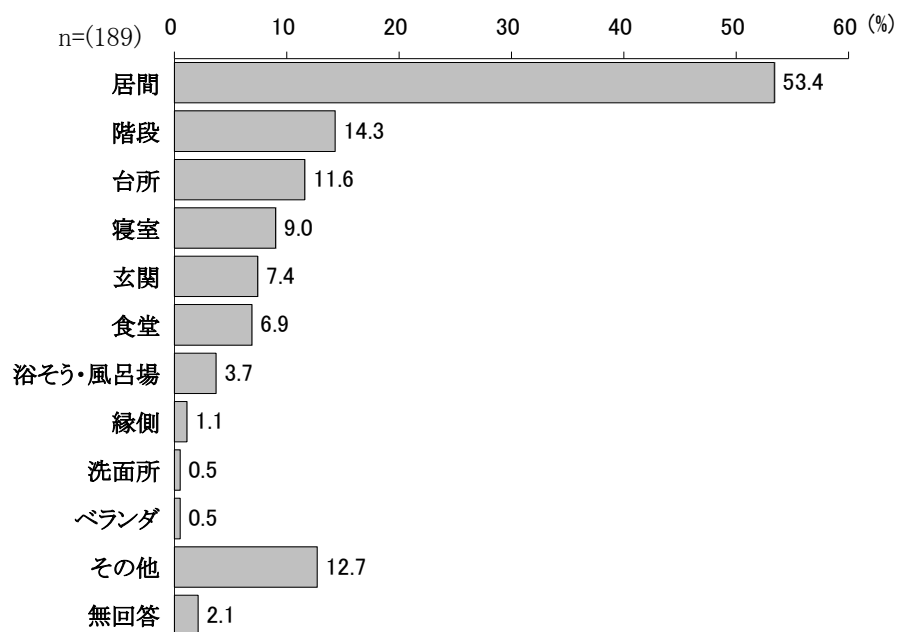
〈 事故があった年齢（件数ベース） 〉



〈 事故があった時間帯（件数ベース） 〉

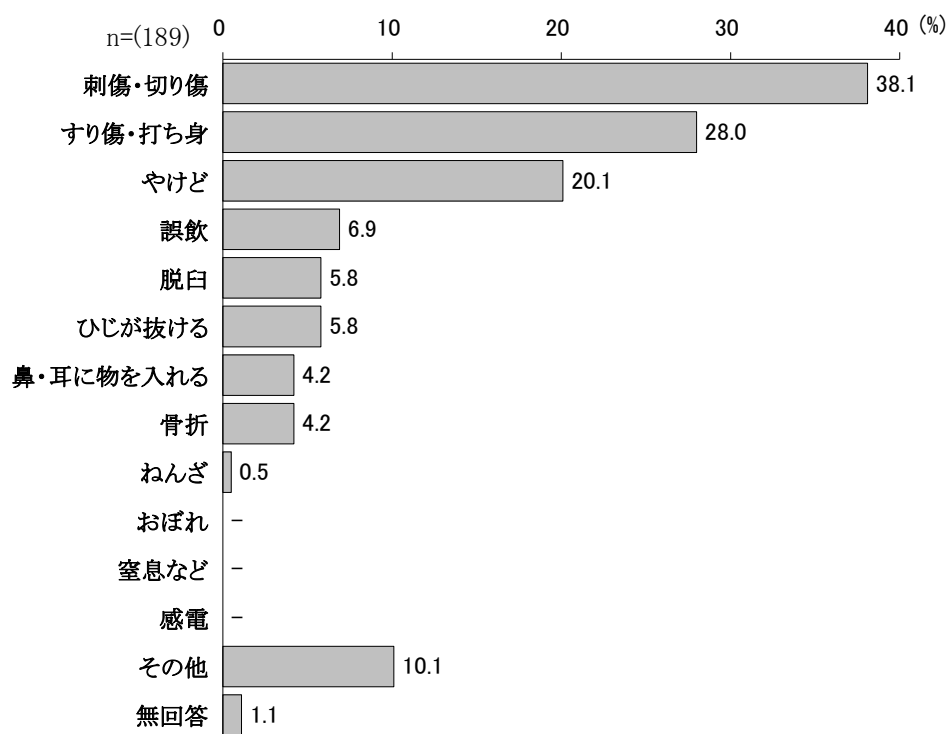


〈 事故があった年齢／事故が起きたところ（件数ベース） 〉



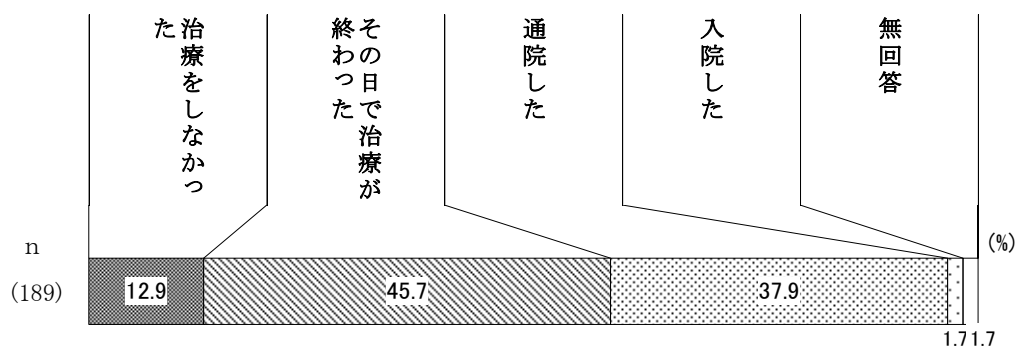
	階段	浴そう・風呂場	台所	食堂	玄関	居間	洗面所	ベランダ	寝室	縁側	その他	無回答
全 体 (n=189)	14.3	3.7	11.6	6.9	7.4	53.4	0.5	0.5	9.0	1.1	12.7	2.1
0 歳 (n=28)	10.7	10.7	7.1	10.7	3.6	75.0	—	—	17.9	—	3.6	—
1 歳 (n=76)	9.2	1.3	13.2	7.9	6.6	53.9	—	—	7.9	2.6	14.5	3.9
2 歳 (n=54)	27.8	9.3	7.4	1.9	14.8	55.6	—	—	5.6	—	20.4	1.9
3 歳 (n=30)	20.0	3.3	16.7	3.3	6.7	83.3	3.3	—	6.7	—	20.0	3.3
4 歳 (n=12)	8.3	8.3	16.7	8.3	16.7	83.3	—	—	—	—	25.0	—
5 歳以上 (n=28)	14.3	10.7	25.0	3.6	7.1	57.1	—	3.6	17.9	—	21.4	—

〈 事故があった年齢／けが等の内容（件数ベース） 〉



	刺傷・切り傷	すり傷・打ち身	やけど	鼻・耳に物を入れる	骨折	誤飲	脱臼	ねんざ	おぼれ	ひじが抜ける	窒息など	感電	その他	無回答
全 体 (n=189)	38.1	28.0	20.1	4.2	4.2	6.9	5.8	0.5	-	5.8	-	-	10.1	1.1
0 歳 (n=28)	21.4	42.9	28.6	3.6	-	14.3	7.1	-	-	3.6	-	-	17.9	-
1 歳 (n=76)	40.8	22.4	26.3	2.6	5.3	5.3	5.3	1.3	-	6.6	-	-	6.6	1.3
2 歳 (n=54)	44.4	38.9	14.8	5.6	-	11.1	9.3	-	-	9.3	-	-	14.8	1.9
3 歳 (n=30)	53.3	40.0	10.0	13.3	3.3	3.3	16.7	-	-	16.7	-	-	13.3	-
4 歳 (n=12)	66.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
5 歳以上 (n=28)	53.6	25.0	21.4	3.6	14.3	10.7	3.6	3.6	-	-	-	-	21.4	-

〈 治療方法（件数ベース） 〉



(5) 保護者の気持ち

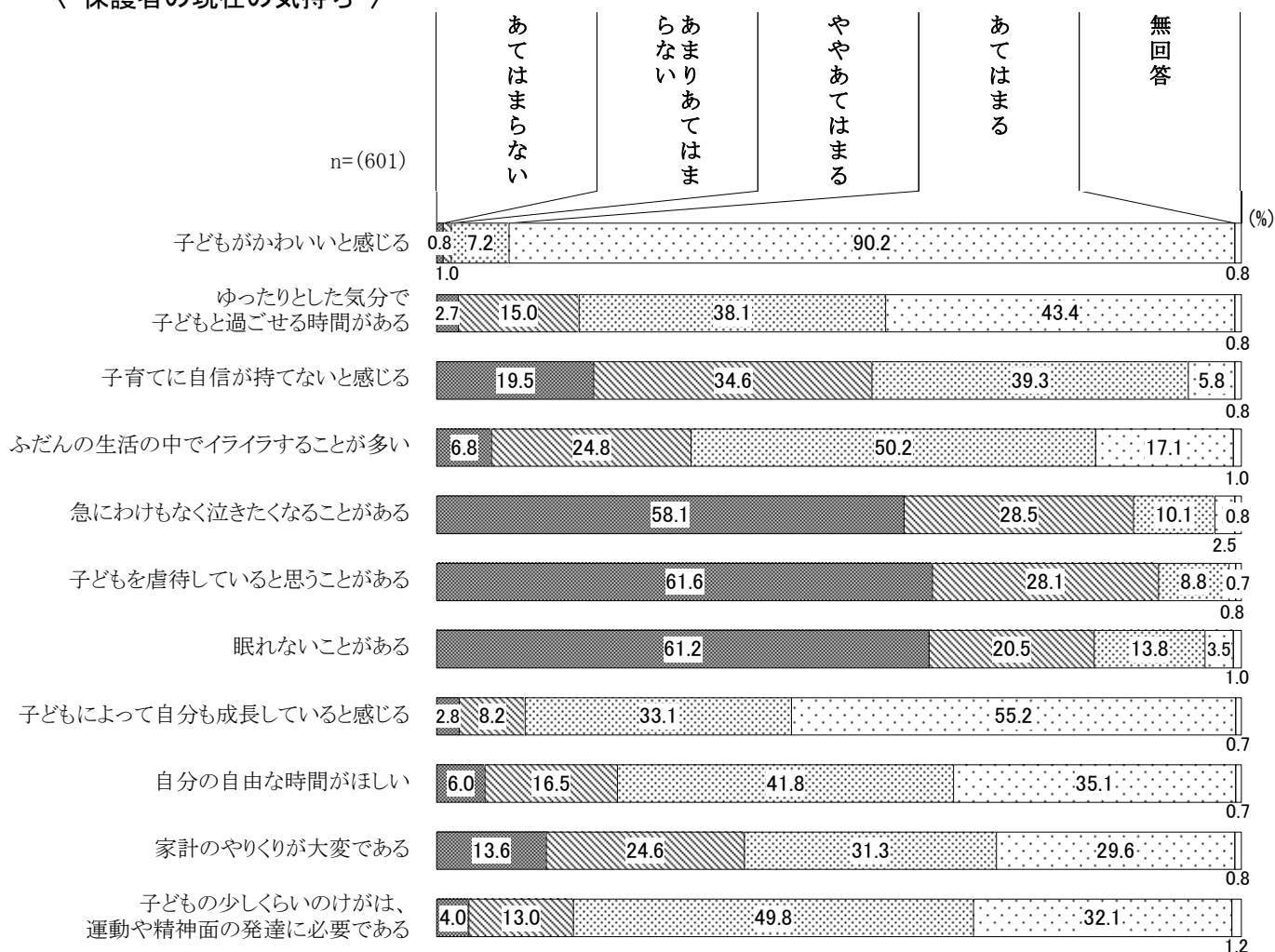
問21 今のあなたの気持ちにもっとも近い番号を選んでください。

(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

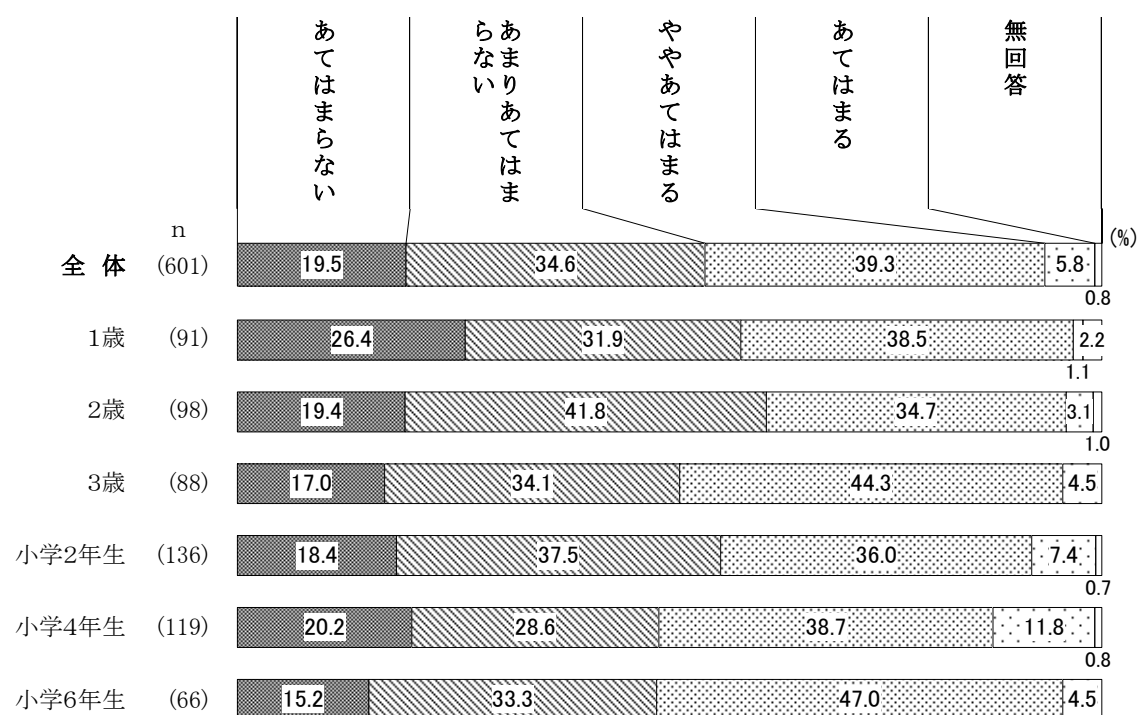
〈子育てに自信が持てないと感じる〉親は45.1% (「あてはまる」「ややあてはまる」の合計)、〈ふだんの生活の中でイライラすることが多い〉親は67.3% (「あてはまる」「ややあてはまる」の合計) となっており、育児不安を抱えている親が少なくないことがわかる。

また、〈子どもを虐待していると思うことがある〉親が9.6% (「あてはまる」「ややあてはまる」の合計) となっている。

〈保護者の現在の気持ち〉



〈 子どもの年齢（学年）／子育てに自信が持てないと感じる 〉



(6) 育児等の悩みの相談先

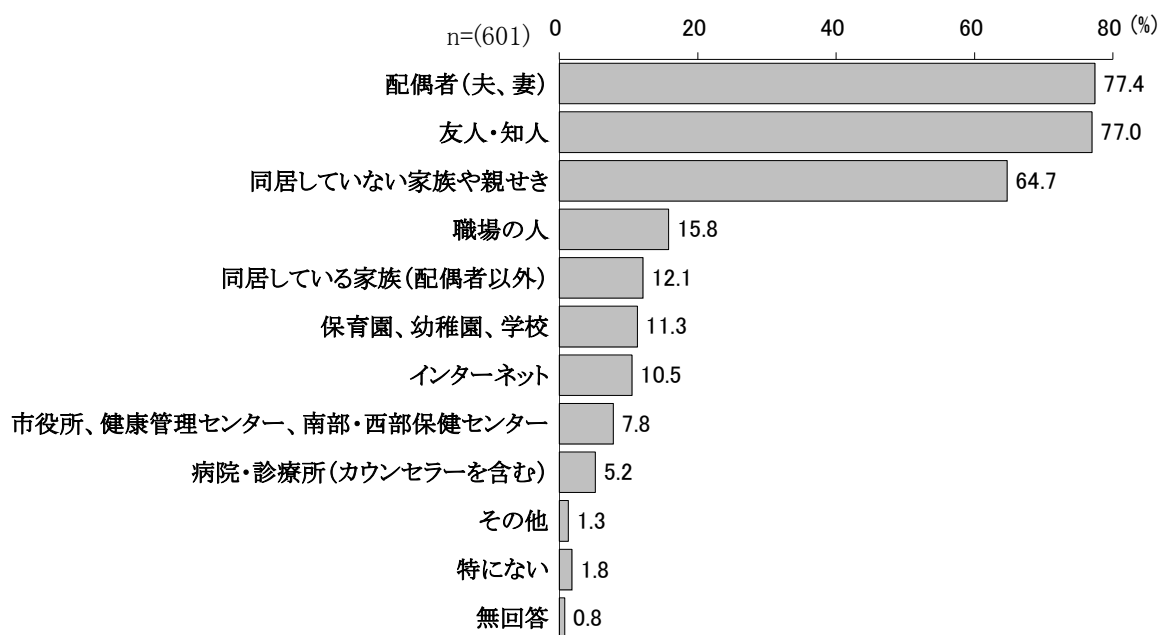
問22 上記のような、あなた自身や育児の悩みについて、誰に相談していますか。

(○はいくつでも)

育児等の悩みの相談先としては、「配偶者（夫・妻）」(77.4%)と「友人・知人」(77.0%)が、いずれも8割近くを占めて、特に高くなっている。また、「同居していない家族や親せき」も64.7%となっている。

子どもの年齢別でみると、幼児の親では「配偶者（夫・妻）」が8割を超えている。また、1歳、2歳では「同居していない家族や親戚」が7割を超えて、他の年齢より高くなっている。

〈 子どもの年齢（学年）／育児等の悩みについての相談先 〉



	配偶者 (夫、妻)	同居して いる家族 (配偶 者以外)	同居して いない家族 や 親せき	友人・ 知人	市役所、 健康管理セ ンター、南 部・西部保 健セン ター	病院・診 療所(カウ ンセラー を含む)	保育園、 幼稚園、 学校	職 場 の 人	イン ター ネ ット	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体 (n=601)	77.4	12.1	64.7	77.0	7.8	5.2	11.3	15.8	10.5	1.3	1.8	0.8
1 歳 (n=91)	85.7	7.7	76.9	74.7	12.1	3.3	9.9	13.2	6.6	1.1	2.2	2.2
2 歳 (n=98)	81.6	16.3	70.4	82.7	7.1	7.1	12.2	11.2	17.3	2.0	-	1.0
3 歳 (n=88)	83.0	12.5	64.8	70.5	17.0	4.5	13.6	11.4	12.5	3.4	1.1	-
小学2年生 (n=136)	76.5	10.3	66.2	79.4	5.1	5.1	11.8	14.7	10.3	-	1.5	0.7
小学4年生 (n=119)	68.9	12.6	56.3	76.5	3.4	5.9	9.2	26.9	8.4	0.8	3.4	0.8
小学6年生 (n=66)	69.7	15.2	51.5	77.3	3.0	4.5	10.6	15.2	7.6	1.5	1.5	-

(7) 父親の育児参加

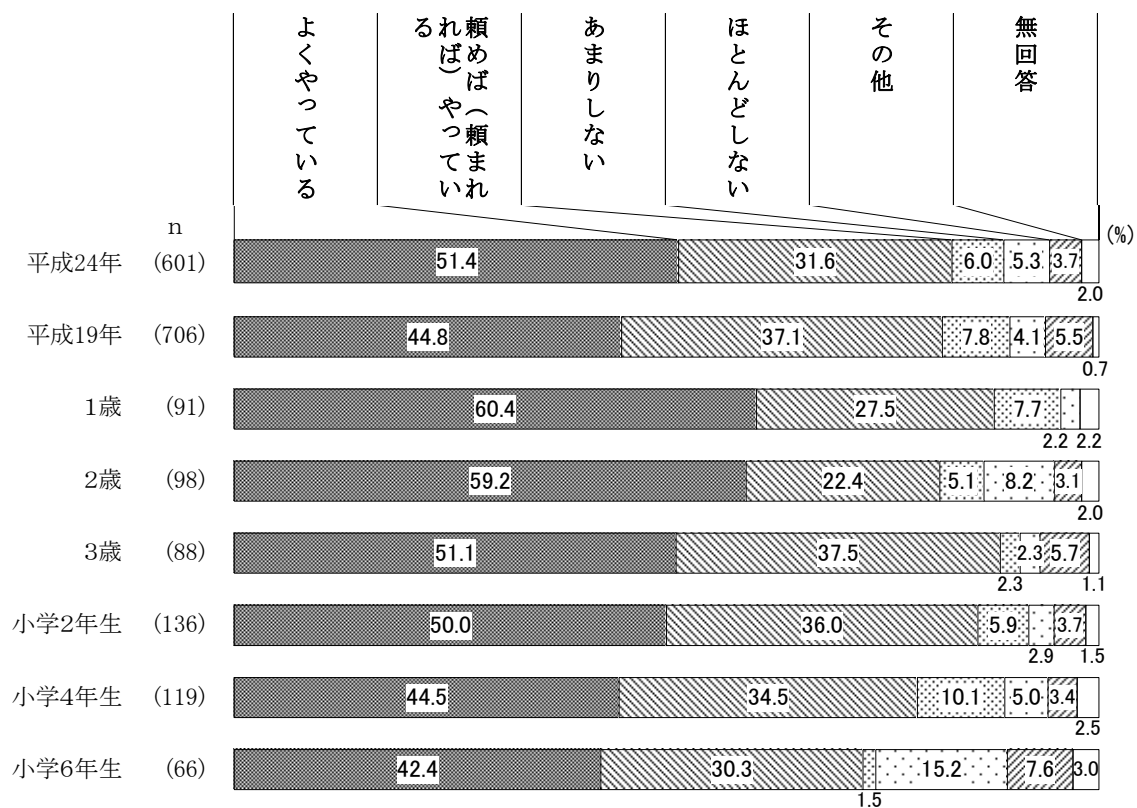
問23 父親は、育児に参加していますか。(○は1つだけ)

父親の育児参加については、「よくやっている」が51.4%で最も高く、次いで「頼めば(頼まれれば)やっている」(31.6%)となっている。一方、「あまりしない」は6.0%、「ほとんどしない」は5.3%となっている。

平成19年調査の結果と比較すると、今回「よくやっている」は51.4%と前回の44.8%より増加している。

子どもの年齢別でみると、1歳、2歳では「よくやっている」が6割前後と他の年齢より高くなっている。

〈 前回、子どもの年齢(学年)／父親の育児参加 〉

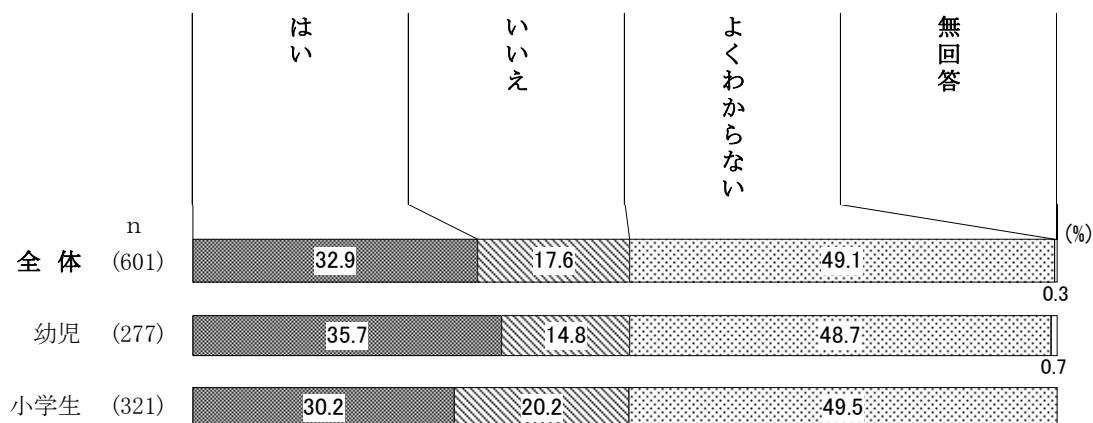


(8) 家庭での性に関する話

問24 あなたの家庭は、性に関することがらについてオープンに話せる家だと思いますか。
(○は1つだけ)

性に関してオープンに話せる家庭かについては、「はい」が32.9%、「いいえ」17.6%となっている。
幼児・小学生別でみると、幼児では「はい」が35.7%と小学生（30.2%）より高くなっている。

〈 幼児・小学生／性に関してオープンに話せる家庭か 〉

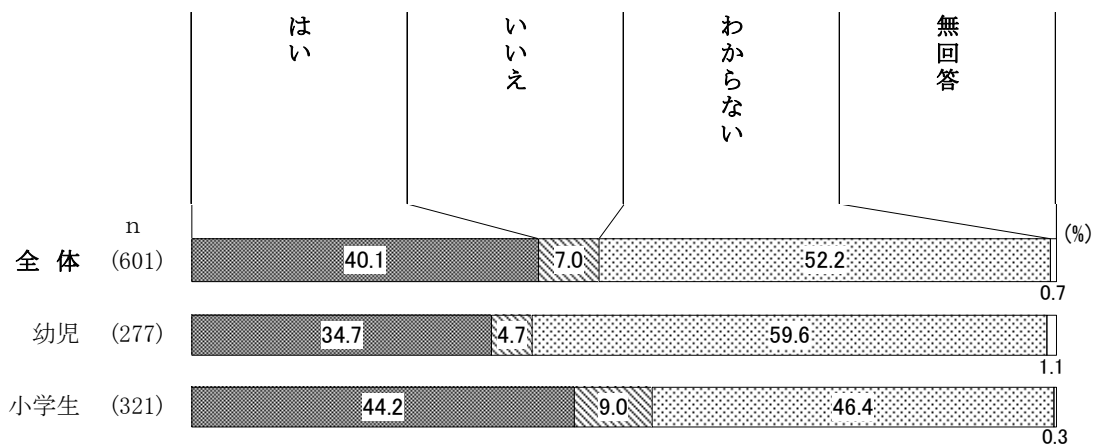


問25 あなたは、お子さんから性に関する悩みの相談や質問を受けたときにきちんと答えることができると思いますか。(○は1つだけ)

性に関する相談を受けたとき、きちんと答えられるかについては、「はい」が40.1%、「いいえ」が7.0%となっている。

幼児・小学生別でみると、小学生では「はい」が44.2%と幼児（34.7%）より高くなっている。

〈 幼児・小学生／子どもから性の悩みや相談を受けたときにきちんと答えられるか 〉

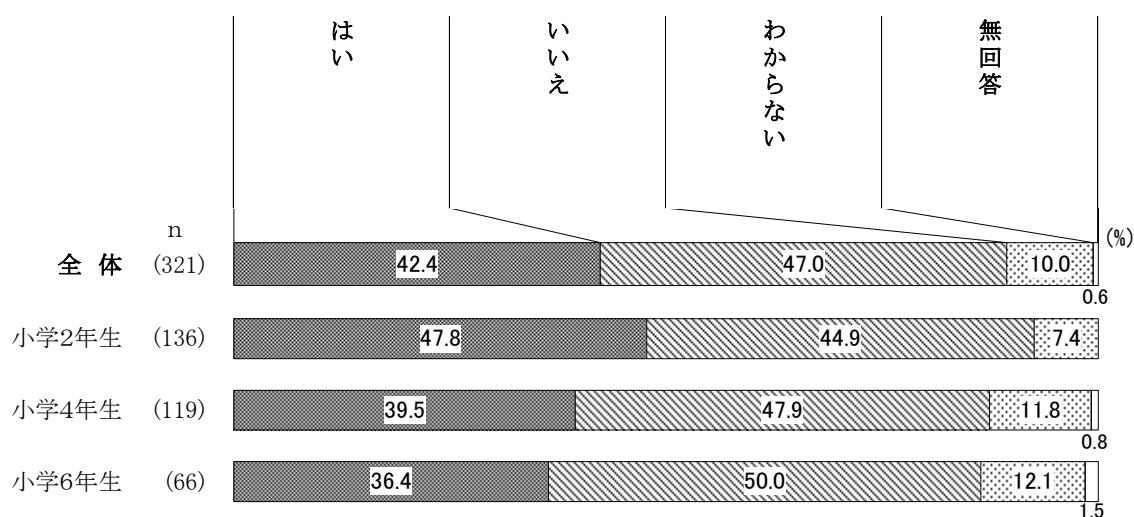


(9) 赤ちゃんとの接する機会

問26 (お子さんが小学生の場合のみ) お子さんに、赤ちゃんと身近に接する機会を経験させるようにしていますか。(○は1つだけ)

子どもに赤ちゃんとの接する機会を経験させているかについては「はい」が42.4%を占めている。子どもの年齢別でみると、小学2年生では「はい」が47.8%と他の年齢より高くなっている。

〈子どもの学年／子どもに赤ちゃんとの身近に接する機会を持たせているか〉



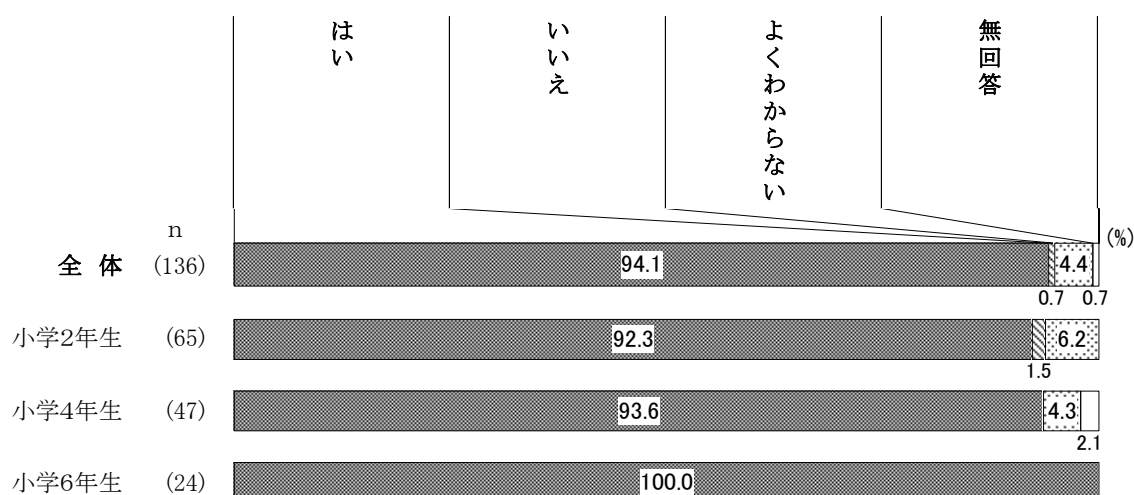
問26で「はい」と回答した人のみ

付問26-1 そのような時、お子さんは、赤ちゃんに対して興味や関心を示し、楽しそうにしていますか。(○は1つだけ)

赤ちゃんとの接するときに、子どもが赤ちゃんに興味や関心を示しているかについては、「はい」が94.1%を占めている。

子どもの年齢別でみると、各学年とも「はい」が9割を超えている。

〈子どもの学年／子どもは赤ちゃんに興味や関心を示すか〉



(10) 健やかな子どものイメージ

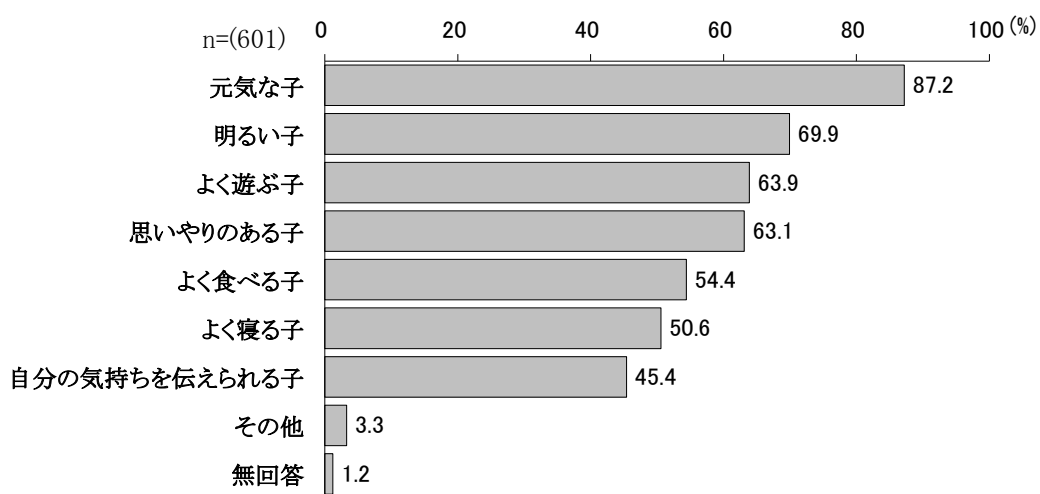
問27 あなたにとって、「健やかな子ども」とはどのようなイメージですか。

(〇はいくつでも)

健やかな子どものイメージとしては、「元気な子」が87.2%で最も高く、以下「明るい子」(69.9%)、「よく遊ぶ子」(63.9%)、「思いやりのある子」(63.1%)の順で続いている。

子どもの年齢別でみると、1歳、小学校2年生、小学4年生では「元気な子」が9割前後を占めている。3歳では「明るい子」が77.3%と、他の年齢より高くなっている。

〈 子どもの年齢（学年）／「健やかな子ども」のイメージ 〉



	元気な子	明るい子	よく遊ぶ子	自分の気持ちを伝えられる子	よく食べる子	よく寝る子	思いやりのある子	その他	無回答
全 体 (n=601)	87.2	69.9	63.9	45.4	54.4	50.6	63.1	3.3	1.2
1 歳 (n=91)	90.1	69.2	60.4	33.0	52.7	49.5	52.7	3.3	3.3
2 歳 (n=98)	84.7	62.2	65.3	44.9	60.2	50.0	62.2	4.1	3.1
3 歳 (n=88)	87.5	77.3	73.9	53.4	62.5	59.1	70.5	3.4	-
小学2年生 (n=136)	89.0	71.3	60.3	42.6	50.7	46.3	63.2	0.7	-
小学4年生 (n=119)	89.9	71.4	63.0	52.1	52.1	49.6	64.7	3.4	-
小学6年生 (n=66)	77.3	68.2	62.1	47.0	50.0	53.0	66.7	7.6	1.5

10. 生きがいづくり、まちづくり

(1) 人づきあい

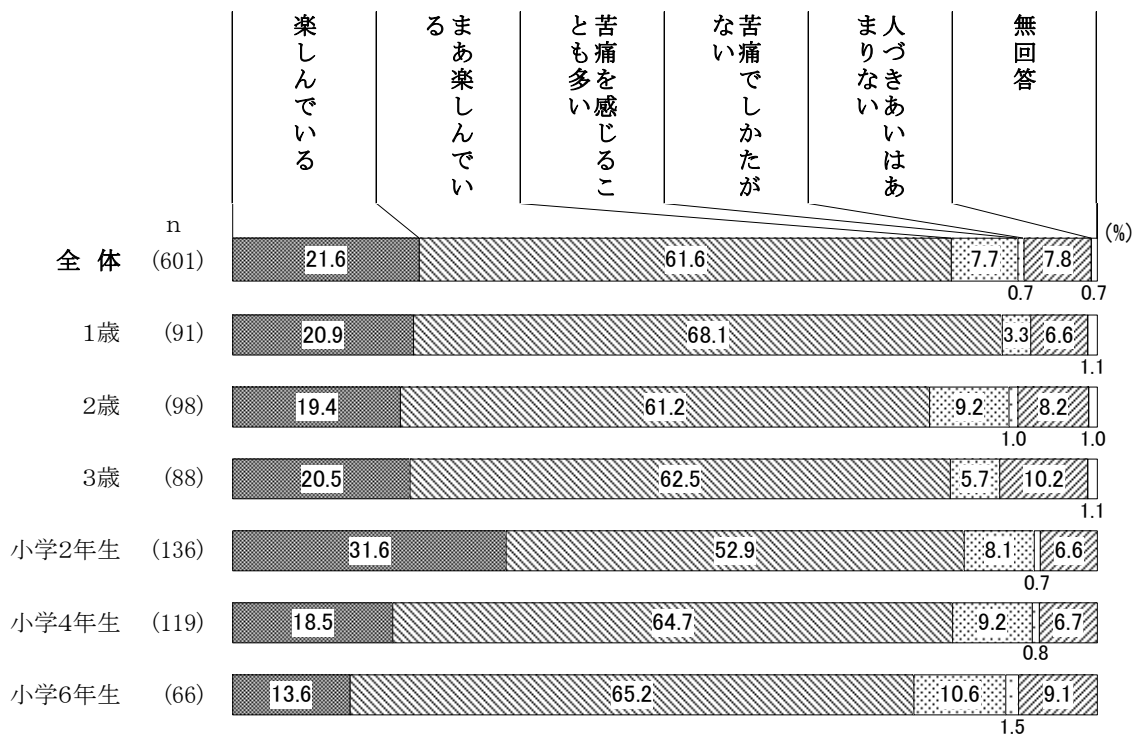
問28 あなた自身は、職場や家族、近所との人づきあいを楽しんでいますか。

(○は1つだけ)

職場や家族、近所との人づきあいについては、「まあ楽しんでいる」が61.6%で最も高く、次いで「楽しんでいる」(21.6%)となっている。

子どもの年齢別でみると、1歳では「楽しんでいる」と「まあ楽しんでいる」の合計は89.0%で、他の年代よりやや高くなっている。

〈 子どもの年齢（学年）／職場や家族・近所との人づきあい 〉



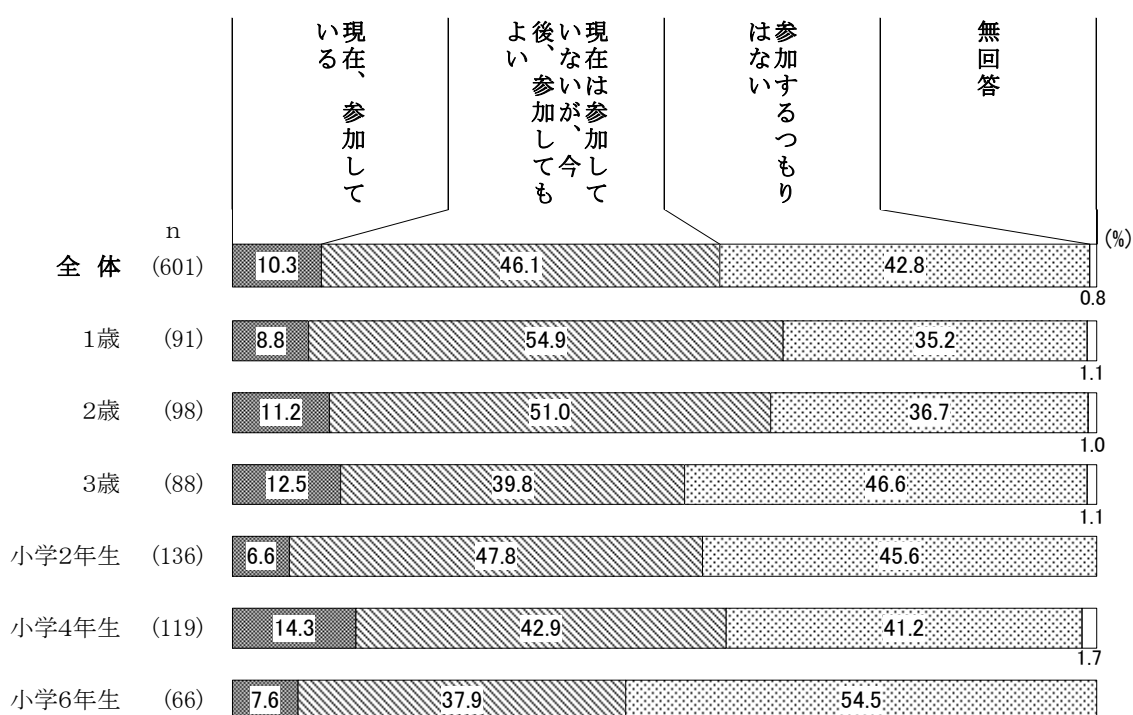
(2) 健康づくり・子育てに関する活動への参加状況・参加意向

問29 あなたは現在、健康づくりや子育てに関わる活動（市民が自主的に、あるいは市のサポートを受けて行っている、健康づくりに関する地域のグループ活動やサークル、ボランティア活動など）に参加していますか。また、今後どうしたいですか。（○は1つだけ）

健康づくりや子育てに関わる活動への参加状況・意向をみると、「現在、参加している」が10.3%、「現在は参加していないが、今後、参加してもよい」が46.1%となっている。一方、「参加するつもりはない」は42.8%となっている。

子どもの年齢別でみると、小学4年生では「現在、参加している」が他の年齢よりやや高くなっている。

〈子どもの年齢（学年）／健康づくりや子育てに関わる活動への参加〉



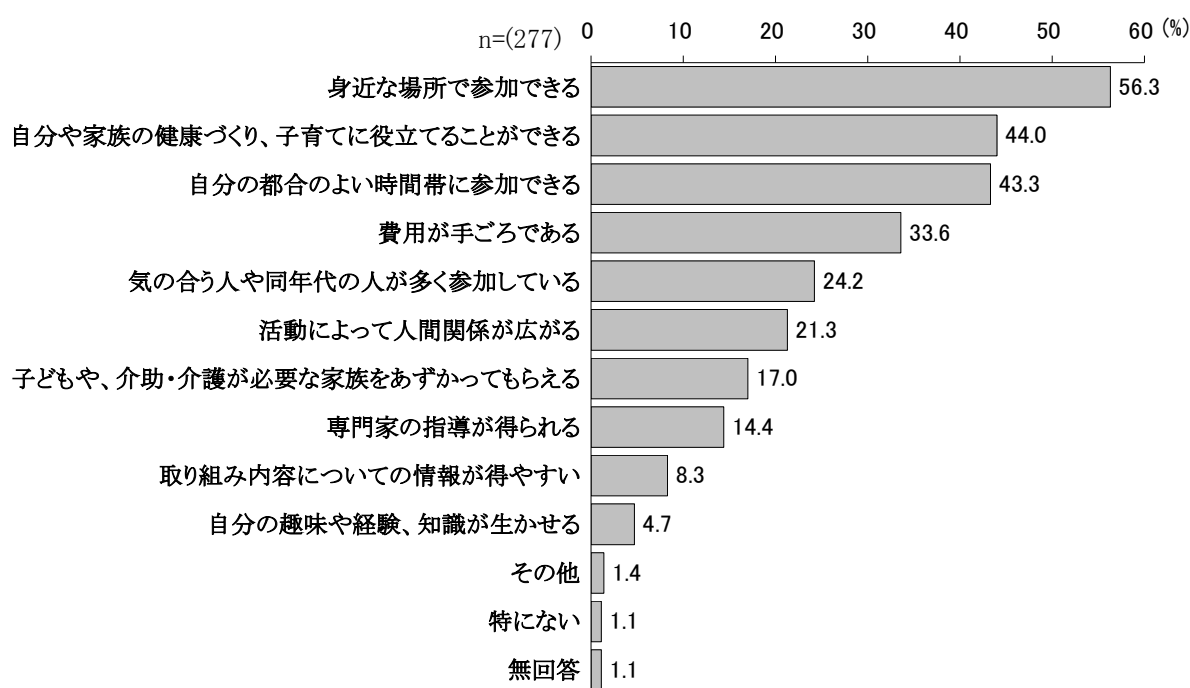
問29で「現在は参加していないが、今後、参加してもよい」と答えた人のみ

付問29-1 あなたがこういったグループ活動に参加するには、どのような条件が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

健康づくりや子育てに関わる活動への参加するために必要な条件としては、「身近な場所で参加できる」が56.3%で最も高く、以下「自分や家族の健康づくり、子育てに役立てることができる」(44.0%)、「自分の都合のよい時間帯に参加できる」(43.3%)、「費用が手ごろである」(33.6%)の順で続いている。

年齢別でみると、1歳、2歳では「自分や家族の健康づくり、子育てに役立てることができる」が5割を超え他の年代より高くなっている。また、小学2年生では「身近な場所で参加できる」が66.2%と高くなっている。

〈 子どもの年齢(学年)／健康づくりや子育てに関わる参加条件 〉



	自分や家族の健康づくり、子育てに役立てることができる	身近な場所で参加できる	費用が手ごろである	専門家の指導が得られる	自分の都合のよい時間帯に参加できる	活動によって人間関係が広がる	気の合う人や同年代の人が多く参加している	取り組み内容についての情報が得やすい	自分の趣味や経験、知識が生かせる	子どもや、介助・介護が必要な家族をあずかってもらえる	その他	特にない	無回答
全 体 (n=277)	44.0	56.3	33.6	14.4	43.3	21.3	24.2	8.3	4.7	17.0	1.4	1.1	1.1
1 歳 (n=50)	52.0	58.0	32.0	14.0	36.0	12.0	34.0	12.0	2.0	20.0	-	-	2.0
2 歳 (n=50)	58.0	62.0	26.0	18.0	36.0	16.0	28.0	12.0	-	18.0	-	-	-
3 歳 (n=35)	40.0	54.3	31.4	5.7	45.7	22.9	22.9	-	5.7	37.1	5.7	-	-
小学2年生 (n=65)	29.2	66.2	36.9	15.4	47.7	24.6	23.1	10.8	7.7	9.2	1.5	1.5	1.5
小学4年生 (n=51)	47.1	37.3	41.2	15.7	47.1	23.5	19.6	7.8	2.0	9.8	2.0	3.9	-
小学6年生 (n=25)	36.0	56.0	32.0	16.0	52.0	32.0	12.0	-	16.0	16.0	-	-	4.0

